# デジカメ写真アルバム

# フォトマスターⅡ Pro

Ver3.03 の新機能



# ■フォトマスターIIPro の新機能について

# 1. 新機能一覧(ver3.03)

Ver3.01→Ver3.03では、新たに以下の新機能を追加しました。

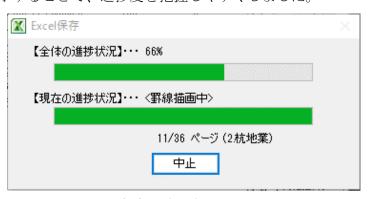
- ・ M Excel 保存の高速化、安定性向上
- 🚟 おまかせ自動レベル補正機能の追加
- ・ アンドゥ・リドゥ機能の追加(アルバム欄)
- ・ 1 つ上の階層に移動」機能の追加(サムネイル欄)

# 1-1. Excel 保存の高速化、安定性向上

Ver 3.03 では、アルバムの Excel 保存の高速化(短縮化)と安定性の向上をはかりました。保存時間は、これまでより概ね  $30\%\sim50\%$ 前後短縮されます。

また、写真の貼付け失敗などが起きにくい仕様に改良いたしました。

また、保存中の進捗度を示すプログレスバーを、下図のように処理毎の進捗度と全体の進 捗度を併せて表示することで、進捗度を把握しやすくしました。



Excel 保存時のプログレスバー

#### 1-2. おまかせ自動レベル補正機能の追加

# 概要

「おまかせ自動レベル補正機能」とは、大量の写真から下図のような「黒潰れ」や「白とび」写真を自動判定し、補正が必要な写真のみにレベル(明暗)補正を実施する機能です。



白とび写真の補正例

# おまかせ自動レベル補正の実行

「おまかせ自動レベル補正」は、サムネイル欄とアルバム欄の写真に対しておこなうことができます。各欄の上部にあるツールバー(下記)をクリックして実行してください。



「おまかせ自動レベル補正」の実行ボタン

# おまかせ自動レベル補正ウィザード

コマンドを実行すると、「おまかせ自動レベル補正ウィザード」画面が表示されます。補 正したい写真と補正方法を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。

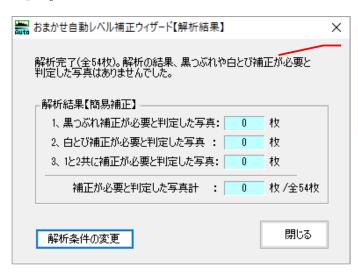
なお補正方法は通常、「標準補正」を選択し、「簡易補正」は、できるだけ写真の補正を したくない場合に選択して下さい)



#### 解析結果の表示

a) 補正が必要と判定された写真がなかった場合

自動解析の結果、補正が必要な写真がなかった場合は、下図の解析結果が表示されます。この場合は補正が必要ありませんので、「閉じる」ボタンを押し作業を終了して下さい。



写真を解析した結果、補正が必要と 判定された写真が無かった場合は、 このような画面が表示されます。 この場合は、「閉じる」を押して作業 を終了して下さい。

a) 補正が必要と判定された写真が1枚以上あった場合

自動解析の結果、補正が必要な写真があった場合は、下図の解析結果が表示されます。 画面左側に、補正が必要な写真のリストを、黒潰れの程度が大きい順に表示していま す。そしてその右側には、選択した写真の補正前と補正後のプレビュー写真を上下に表 示しています。



補正写真リストとプレビューから写真毎の補正状況を確認し、問題なければ「補正を実行する」ボタンを押して補正を開始して下さい。

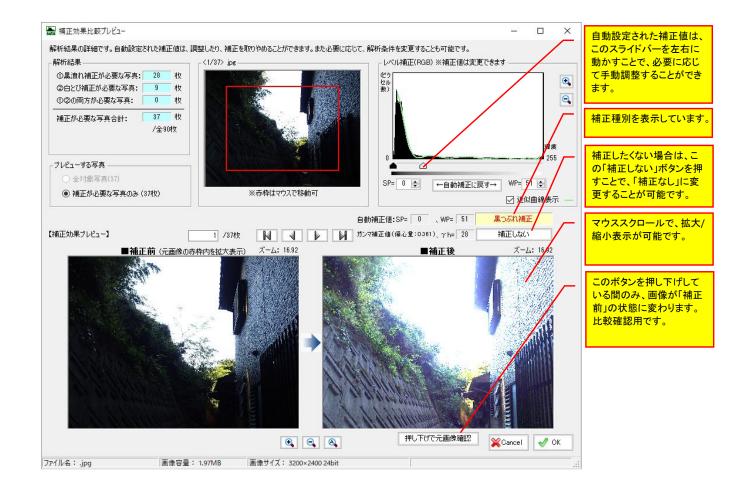
なお「補正を実行する」ボタンを押すと、下記の「オリジナル写真の保存」画面が表示されます。もし、補正前のオリジナル写真を別フォルダに残しておきたい場合は、このチェックをオンにしてください。そして、「格納フォルダ名」を設定したうえで、「補正実行」ボタンを押して下さい。



## 補正効果比較プレビュー

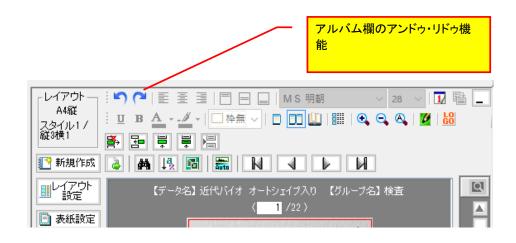
前頁の「おまかせ自動レベル補正ウィザード(解析結果)」画面にある「補正効果比較プレビュー」ボタンについてご説明致します。

「補正効果比較プレビュー」ボタンを押すと、下記画面が表示されます。この画面では、 補正が必要と判定された写真毎に、補正効果を詳しく確認したり、必要に応じて補正値を 調整することができます。



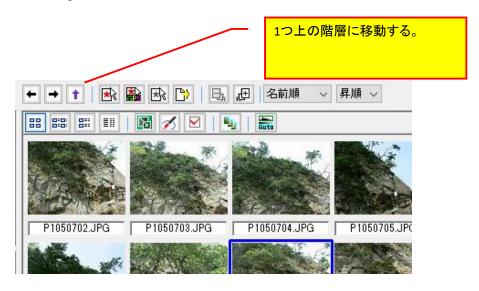
# 1-3. アンドゥ・リドゥ機能

アルバム欄に、アンドゥ・リドゥ機能を追加しました。アルバム欄の編集等の操作に対して、やり直し等の操作が可能になります。



# 1-4.1 つ上の階層に移動」機能の追加(サムネイル欄)

サムネイル欄において、1つ上の階層フォルダに移動し、そのフォルダ内を表示する機能 を追加しました。



# 2. 新機能一覧(ver3.02)

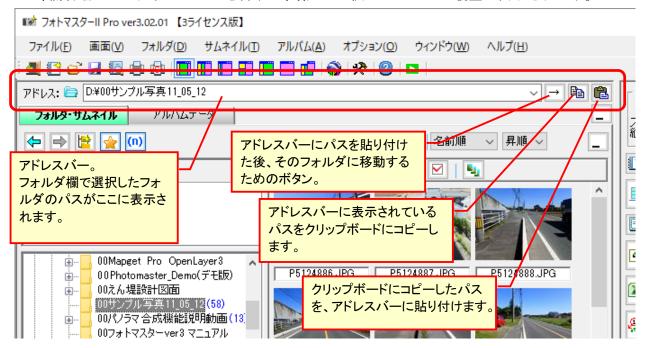
Ver3.01→Ver3.02では、新たに以下の新機能が追加されました。

- ・ 主画面上部にアドレスバーを追加
- ・ り アルバムデータタブ画面に、履歴欄を追加
- 単語リストに登録できる単語数を 45→120 語に増大
- 熱了時にアルバムデータの未更新チェック機能を強化

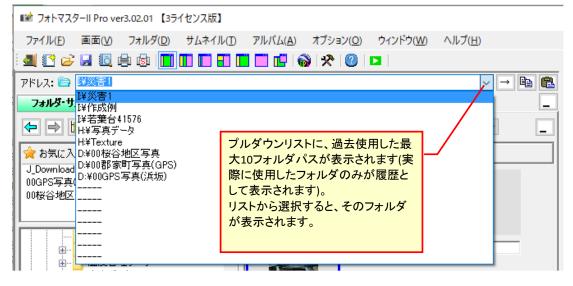
#### 2-1. 主画面上部にアドレスバーを追加

主画面上部に、下図のようにアドレスバーを追加しました。このアドレスバーは、フォルダ欄で選択したパスを表示するための欄ですが、パスを直接貼り付けて移動する事も可能です。

また、欄右端のプルダウンボタンを押すと、最大10個までのパスの履歴が表示されます。



主画面上部に追加したアドレスバー



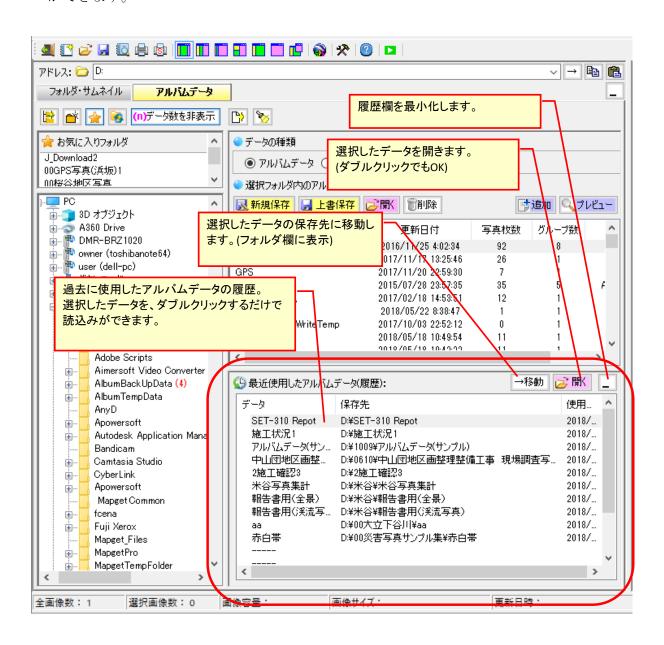
アドレスバーの履歴パス(最大10個)

#### 2-2.アルバムデータタブ画面に、履歴欄を追加

アルバムデータタブ画面のアルバムデータリスト欄の下方に、アルバムデータの履歴欄を 追加しました。

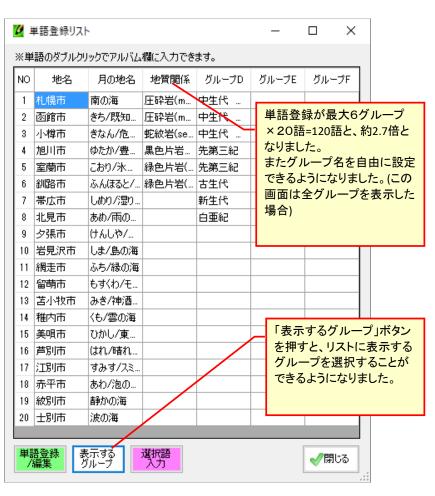
この履歴欄は、過去に使用したアルバムデータの一覧を日時順に表示したもので、上方ほど最近使用したデータとなります。

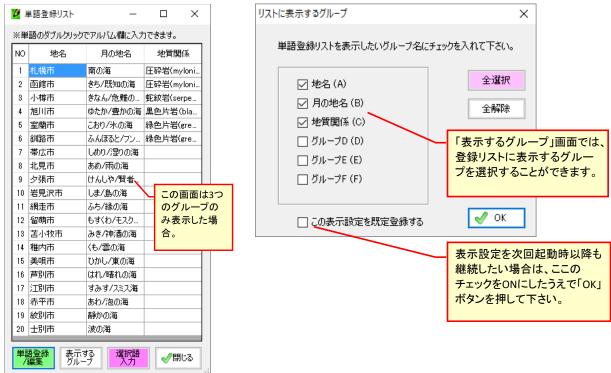
また、履歴欄のアルバムデータをダブルクリックすることで、そのデータを直接開くことができます。



# 2-3. 単語リストに登録できる単語数を 45→120 語に増大

単語リストへの登録数を、これまでの 45 語→120 語に大幅に増大しました。 またグループ数も、これまでの 3 グループ→6 グループに増強し、グループ名も登録できるようにしました。





# 2-4.終了時にアルバムデータの未更新チェック機能を強化

フォトマスター終了時に、アルバムが未保存の場合や更新していない場合は、下記のような注意喚起のメッセージを表示するように改良しました。



# 3. 新機能一覧(ver3.01)

Ver3.00→Ver3.01では、新たに以下の新機能が追加されました。

- 協 ロゴマーク表示機能を追加
- ジフォルダ欄からアルバムデータを開く機能を追加
- ・ オートシェイプの背景色に透明度の設定機能を追加
- ・22 複数グループ間での写真連番機能
- 🖾 各種設定値の一括保存/読込機能を追加
- ▼ アルバム追加済チェック機能を改良
- 🤔 撮影位置図の対象写真の絞込み機能を改良

# 3-1. ロゴマーク表示機能

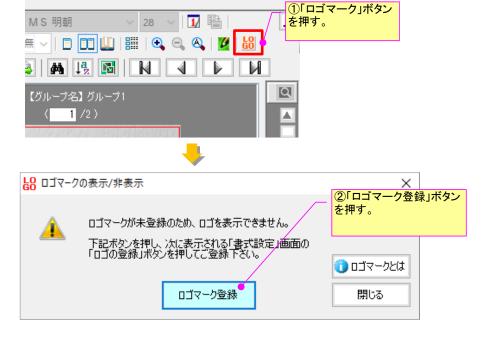
ロゴマーク表示機能とは、ページのヘッダ欄やフッタ欄に、企業ロゴマーク等の画像を表示する機能です(下図参照)。

登録できるロゴ画像は、ヘッダ欄とフッタ欄にそれぞれ1種類。表示位置は、ヘッダ欄(フッタ欄)の左側、中央、右側の3種類から選択可能です。



ロゴマークの設定例

ロゴマーク表示機能を使用するには、最初にロゴマークを登録する必要があります。登録にはまず、アルバム欄のツールバー内の「ロゴマーク」ボタンを押します。すると「ロゴマークの登録」画面が表示されますので、「ロゴマーク登録」ボタンを押します。



すると下記の「書式設定」画面が表示されますので、ロゴを登録する場所を「ヘッダ欄」「フッタ欄」のいずれかから選択します。そして「ロゴの設定/変更」ボタンを押してロゴを登録します。



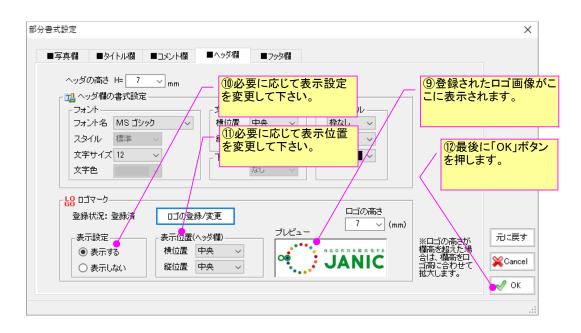
ロゴ画像を読み込むと、下記の「登録ロゴの確認/適用」画面が表示されますので、画像確認のうえ「はい」ボタンを押して下さい。

なお「このロゴマークを直ちにヘッダ欄に適用する」のチェックを付けると(通常 ON)、登録画像が直ちに現在のアルバムに反映(表示)されます。チェックを外すと登録のみおこない、現在のアルバムには反映(表示)しません。



最後に「書式設定」画面に戻りますので、必要に応じて「表示設定」や「表示位置」を変更し「OK」ボタンを押して下さい。これでロゴマークの登録はすべて完了です。

ロゴマークは、一度登録されると次回よりそのロゴマークが既定表示されますので再登録は不要です。





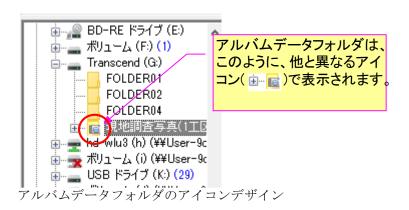
ヘッダ欄に表示されたロゴマーク例

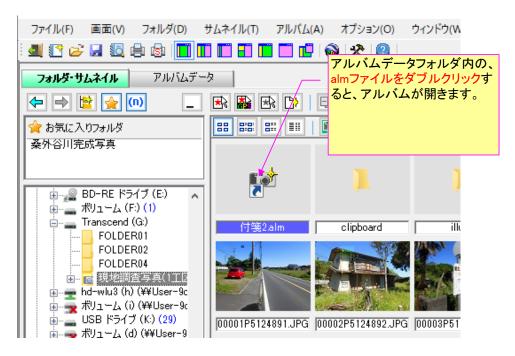
#### 3-2. フォルダ欄からアルバムデータを開く機能

フォトマスターのアルバムデータはフォルダ構造になっているため、アルバムデータフォルダはフォルダ欄にも表示されます。

そこで、フォルダ欄にて開きたいアルバムデータフォルダを選択し、サムネイル欄に表示されたアルバムデータファイルの1つである「alm」ファイルをダブルクリックすることで、アルバムデータを開くことができます。

なおアルバムデータフォルダは、他のフォルダと区別し易いように、カメラマークの付いたアイコンで表示されます。



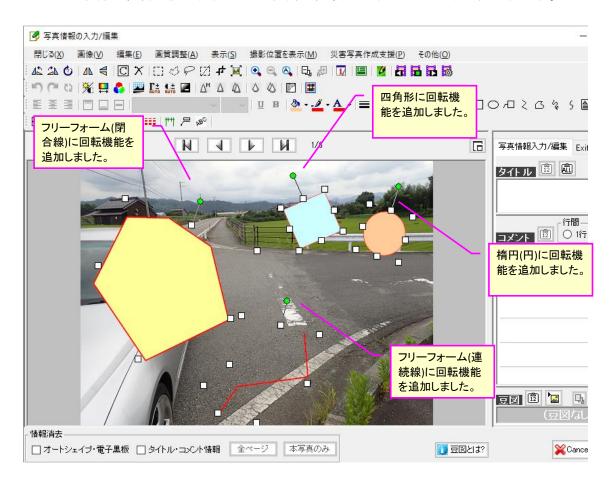


アルバムデータ内の alm ファイルをダブルクリック→データ読込

#### 3-3. オートシェイプ(フリーフォーム、四角、円)に回転機能を追加

オートシェイプのうち、フリーフォーム(連続線)、フリーフォーム(閉合線)、四角形、円(楕円)に回転機能を追加しました。

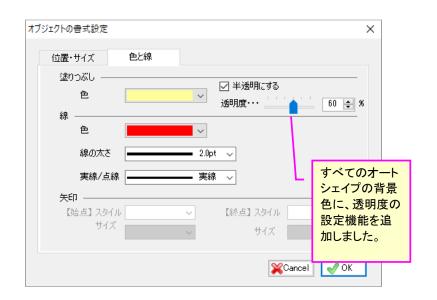
使用方法は Excel と同じです。緑丸のノードをマウスで掴んで回転させます。回転角が定まっている場合は、書式設定画面より回転角を直接入力することでも回転可能です。

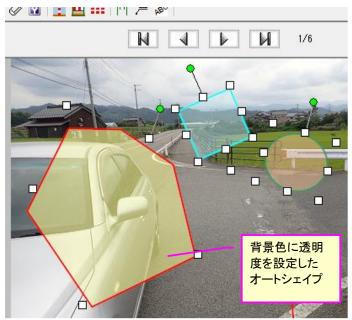


# 3-4. オートシェイプの背景色に透明度の設定機能

フリーフォーム(閉合線)、四角形、円(楕円)の背景色に透明度の設定ができるようになりました。

使用方法は Excel と同じです。書式設定画面にて「半透明にする」にチェックを入れたうえで、透明度のスライドバーもしくは直接入力にて設定します。





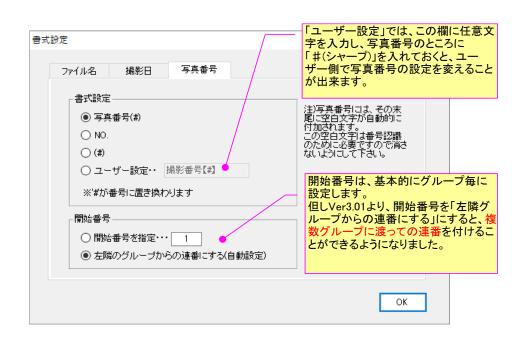
背景色を半透明(透明度60%)にしたオートシェイプ

# 3-5. 複数グループ間での写真連番機能

Ver3.01 より、開始番号の設定を「左隣グループからの連番にする」にすると、<mark>複数グループに渡っての連番</mark>を付けることができるようになりました。

例えば、グループ 1 の末尾の写真番号(連番) が 25 だった場合、グループ 2 の写真番号(連番) は、自動的に 26 から始まります。

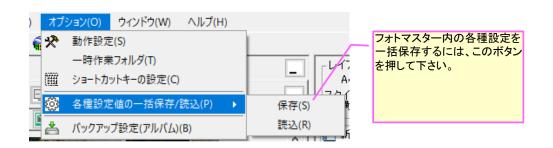
グループ1の写真枚数が変わった場合は、グループ2の写真番号はそれに連動して変化します。



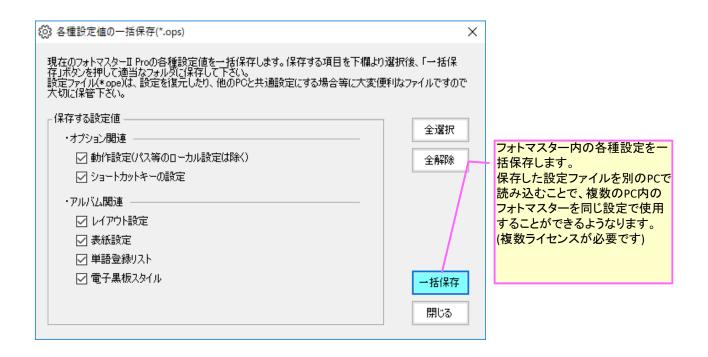
#### 3-6. 各種設定値の一括保存/読込

フォトマスターII Pro 内の様々な設定値を、1 つのファイルにまとめて保存する機能を追加しました。

複数ライセンスを保有している場合には、保存した設定ファイルを他の PC で読み込むことで、使用者全員が同じ設定でフォトマスターII Pro を使用することができます。



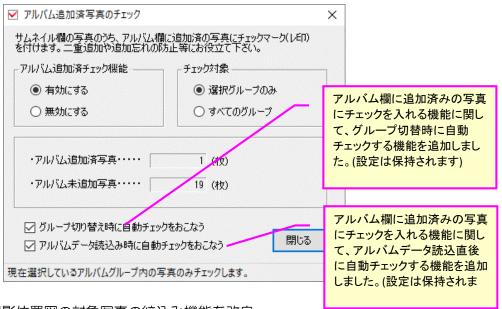
各種設定値の一括ファイル保存は、メニューの「オプション」-「各種設定値の一括保存/ 読込」-「保存」コマンドにて実行して下さい。保存する設定値は、チェックボタンによりカ スタマイズ可能です。



# 3-7. アルバム追加済チェック機能を改良

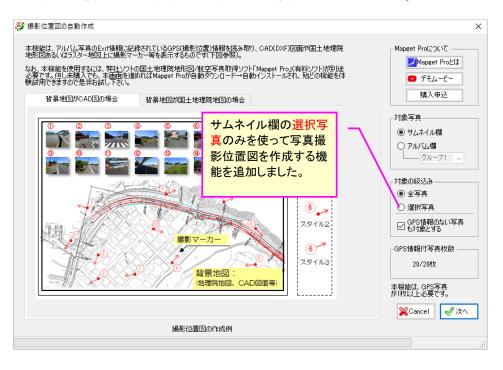
アルバムに追加済の写真をチェックする機能において、グループを切り替えた時に自動チェックする機能を追加しました。また、アルバムデータを読み込んだ際にも自動チェックする機能を追加しました。

この機能により、追加済チェックを手動でその都度行う必要がなくなりますので、作業性が少し改善されるものと思います。



#### 3-8. 撮影位置図の対象写真の絞込み機能を改良

撮影位置図の自動作成機能において、対象写真の絞り込み機能を少し改良しました。 これまでは、アルバム欄の写真もしくは、サムネイル欄の全写真を対象としていました が、サムネイル欄の選択写真のみに絞り込む機能を追加しました。



 撮影位置図の対象写真を、 サムネイル欄の「全写真」 と「<mark>選択写真</mark>」のの2種類 から選択できるようになり ました。

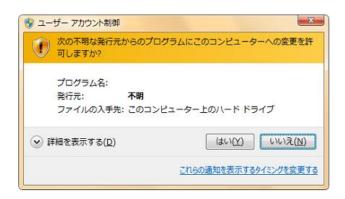
# 4. 新機能一覧(ver3.00)

Ver2. 11→Ver3. 00 では、新たに以下の新機能が追加されました。

- ♥ UAC に対応(ソフト発行元証明)
- ■ 保存/読込処理の高速化
- ・ 👛 完全バックアップ処理の高速化
- ・ フォトマスタービューア(フリーソフト)の提供
- ・ 🛂 パノラマ写真の簡易作成機能(2点指示)
- 任意形選択時の機能強化
- 器 撮影位置図の自動作成機能(本機能は、弊社別ソフトが必須)

# 4-1. UAC に対応(ソフトの発行元証明)

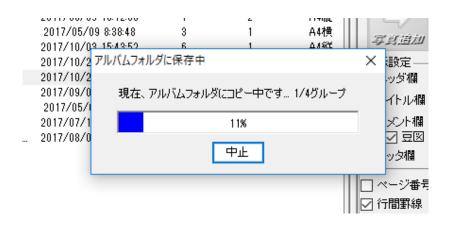
コードサイニング証明を取得。UAC(ユーザーアカウント制御)による発行元不明の下記画面は表示されなくなります(代わりに、信頼できる発行元であることを証明する青い認証画面が表示されるようになります)。



# 4-2. アルバムデータの保存/読込処理やバックアップ時間を高速化

アルバムデータの新規保存/上書保存の処理方法を改良し、処理時間を大幅に短縮しました。 その結果、従来のおよそ 1/3 以下の時間で保存が完了します(読込も若干高速化)。

またバックアップの処理時間も大幅に短縮化(1/5 以下)し、「完全バックアップ」方式でも、バックアップ時間がごく僅かなため、通常作業が支障なく続けられるようになりました。

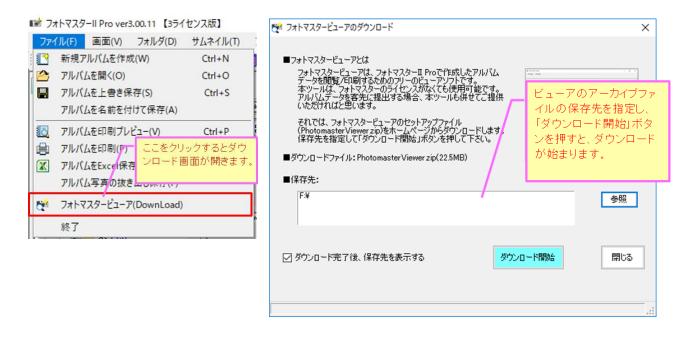


# 4-3. フォトマスタービューア(フリーソフト)の提供

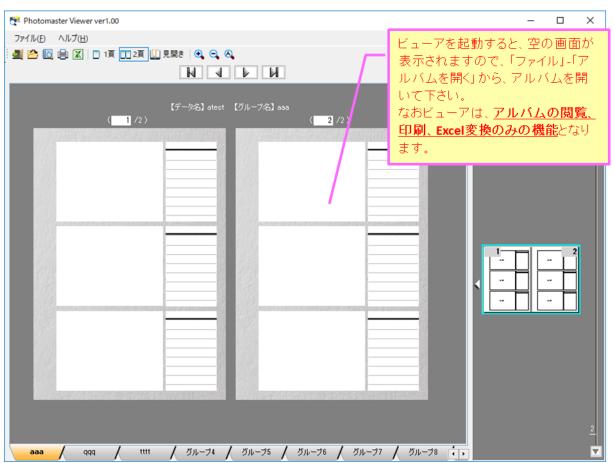
Ver3.0 より、ユーザー様からのご要望が多かった「ビューアソフト(フリー)」をご提供できるようになりました。

本ソフトは、フォトマスターII Pro 専用のビューアソフト(フリー)で、ver3.00 以降のフォトマスターII Pro で作成されたアルバムデータを読み込み、印刷や Excel 保存をおこなうものです。

フォトマスターのライセンスが無くてもご使用頂けますので、必要に応じて、アルバム提出先等 にご提供ください。



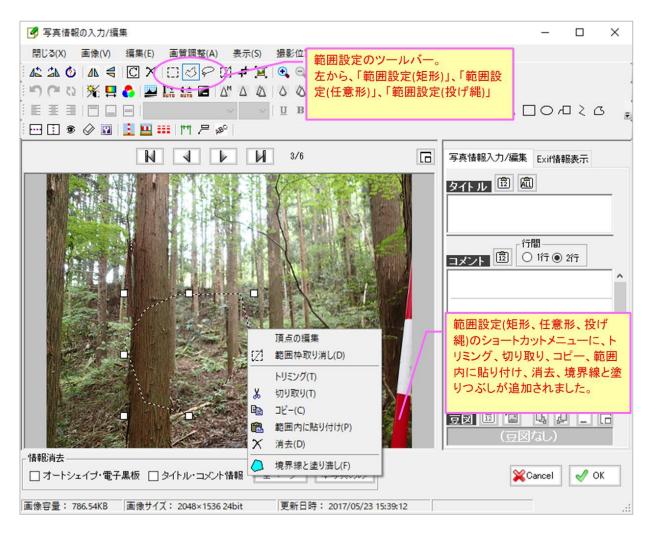
# ■フォトマスタービューアの画面

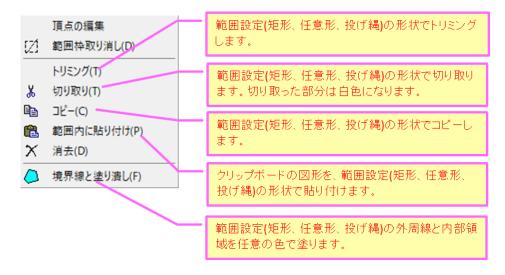


# 4-4.「範囲設定(矩形、任意形、投げ縄)」に関する追加機能

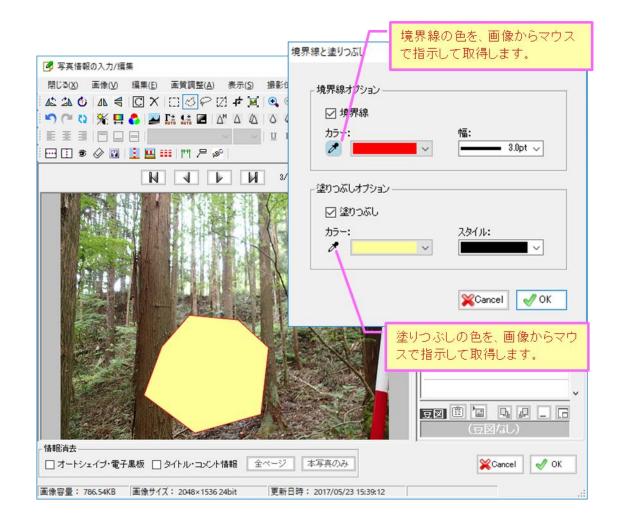
#### 概要

範囲設定には、「矩形」、「任意形」、「投げ縄」のショートカットメニューに、トリミング、切り取り、コピー、範囲内に貼り付け、消去、境界線と塗りつぶし機能が追加されました。





「範囲設定」のショートカットメニュー(矩形、任意形、投げ縄共通)



「範囲設定」の境界線と塗りつぶしの機能

#### 4-5. パノラマ写真の簡易作成機能(2点指示)

#### 概要

サムネイル欄の複数の写真を1枚の写真に合成する「パノラマ写真作成機能」(簡易機能)を 標準装備しました。

フォトマスターでは、写真を自動合成する一般的な方法ではなく、合成する2枚の写真上に 照合点(同一点)を2点ずつ手動指示して合成する手法を採用しています(2点指示法)。

この手法は写真を歪めずに合成しますので、画質劣化が殆ど起きないメリットがあります。

#### 使用方法の概要

サムネイル欄から、合成したい写真を2枚以上選択し、ショートカットメニューから「パノラマ写真の合成」コマンドを実行します。(なお、1度に合成できるのは6枚までです)



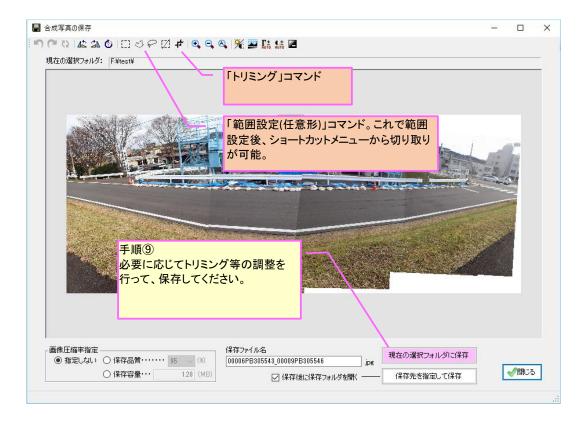
下図画面が表示されますので、写真の並びを確認し、「次へ」ボタンを押します。本ツールでは、左から順番に1枚ずつ写真を合成します。



下記画面にて写真の合成をおこないます。左右の写真それぞれの同一点(照合点)を2点ずつ(全4点)マウス指示して下さい。指示が終わると、2枚の写真は自動的に合成され、右上のプレビュー画面に表示されます。



最後の写真を合成し終わったら、すべての合成作業は完了です。「合成写真保存」ボタンを押し、写真を保存してください。



# 4-6. 撮影位置図の自動作成機能 (弊社の別ソフトとの連携機能。オプション)

#### 概要

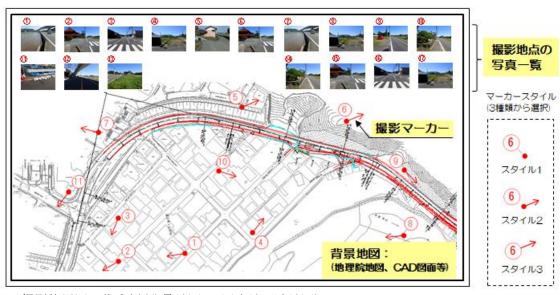
写真の撮影位置情報(GPS 情報)に基づき、CAD(DXF)図や地理院地図上に撮影位置マーカー(少)を自動作図して「撮影位置図」を作成する機能をオプションとして追加しました。

本機能は、弊社の国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」【デラックス版】ver6.00 以降が必須の機能となります(有料)。勿論、未購入のままでも殆どの機能を体験試用できますので、是非一度お試し下さい。

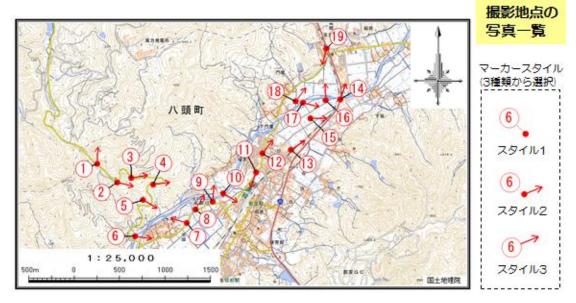
■アルバム欄のサイドメニューの「撮影位置図作成」ボタンから実行



■撮影位置図の作成例(背景地図・・・CAD図)



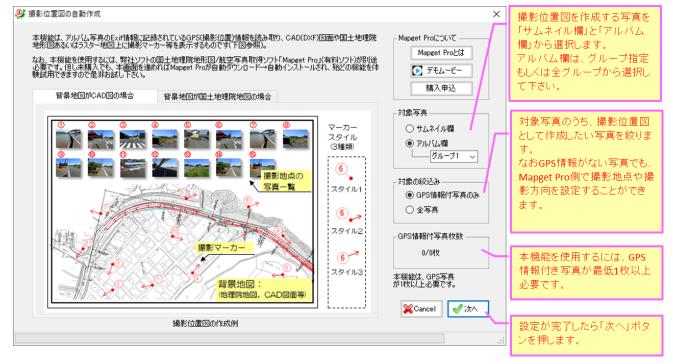
■撮影位置図の作成例(背景地図・・・国土地理院地図)



#### 作成手順の概要

# 共通事項

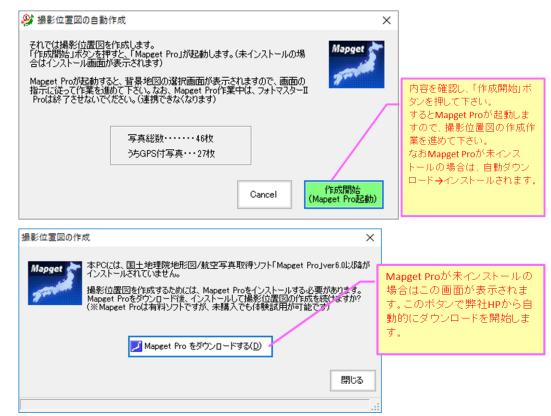
① フォトマスターII Pro の「撮影位置図作成」コマンド(前頁参照)を実行すると、下記画面が表示されます。作成する対象写真等を選択し、「次へ」ボタンを押して下さい。



② 次に、下記の確認画面が表示されますので、内容確認後、「作成開始」ボタンを押して下さい。 すると、Mapget Pro (ver6.0 以降)がインストール済の場合は、Mapget Pro が起動しますので、 以後の作業はすべて Mapget Pro 側でおこないます。

一方、Mapget Pro(ver6.0 以降)が未インストールの場合は、最下段のダウンロード画面が表示されます。画面内のボタンを押すと Mapget Pro が自動ダウンロードされ、インストールが可能となります。

インストールが完了すると、自動的に Mapget Pro が起動しますので、表示される画面の指示に従って操作を進めて下さい(詳細は次ページ以降を参照)。



Mapget Proがインストールされますと自動的に起動し、下記の画面が表示されます。

③ Mapget Pro が自動起動すると、下記の初期画面が表示されます。「背景地図の選択」から、撮影位置マーカーを作図したい背景地図を、地理院地図、航空写真、DXF 図面、ラスター地図の4種類から選択し、「次へ」ボタンを押して下さい。 (以降はすべて、Mapget Pro の画面となります)



■背景地図の種類(下記4種類から選択可能)

- ・web より地形図を取得・・・・国土地理院の<u>電子国土基本図(地図情報)</u>を取得。淡色地図、標準地図、色別標高図の3種類から選択
- ・webより航空写真を取得・・・・・国土地理院の電子国土基本図(オルソ画像)
- · CAD 図面······DXF 図面
- ・ラスター地図・・・スキャナ等により画像化した地図。BMP、Tiff、Tif、JPG、PNG

電子国土基本図(地図情報)・・・ <a href="http://www.gsi.go.jp/kibanjoho/mapinfo\_what.html">http://www.gsi.go.jp/kibanjoho/mapinfo\_what.html</a>
電子国土基本図(オルソ画像)・・ <a href="http://www.gsi.go.jp/gazochosa/gazochosa40001.html">http://www.gsi.go.jp/gazochosa/gazochosa40001.html</a>

# 背景地図が「web より地形図を取得」もしくは「web より航空写真を取得」の場合

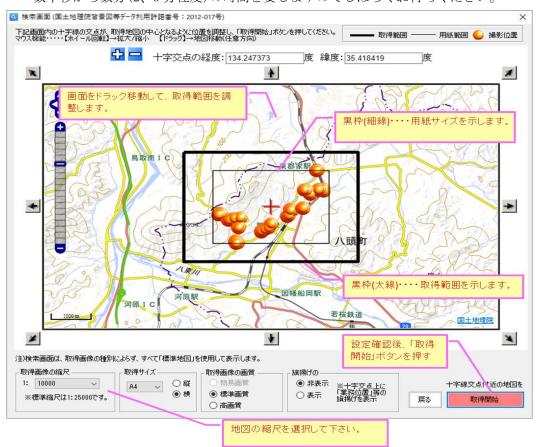
④ 前ページの初期画面の「次へ」ボタンを押すと下記画面が表示されますので、撮影位置マーカーのスタイルを設定します。写真フォルダの設定は不要です。なお、撮影マーカーのスタイル等は、撮影位置図を作成した後でも変更可能です。



⑤ 次は、web から背景地図を取得します。国土地理院の背景地図利用に関する利用規約に「同意」 していただき「次へ」ボタンを押して下さい。



⑥ 次は、地図の取得条件を指定します。地図上のオレンジ色の丸印が撮影地点を表していますので、それを目印に地図をドラッグ移動し取得範囲を調整して下さい。最後に「取得開始」ボタンを押すと、web にアクセスして背景地図の取得が開始されます。条件によって異なりますが、数十秒から数分(2、3分程度)の時間を要しますのでしばらくお待ちください。



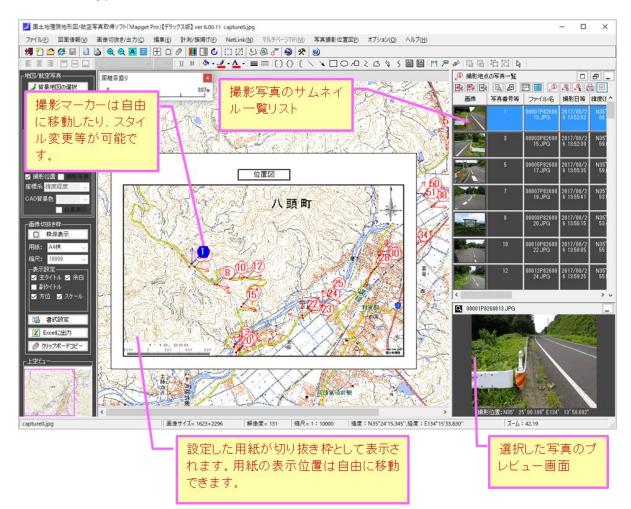
① 背景地図が取得されると、次に下図の写真位置マーカーの情報一覧が表示されますので、必要に応じて表示内容等を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。なお撮影マーカーの写真番号には、フォトマスター側のタイトル欄の連番が既定値として設定されます。但し、「ファイル名」「ファイル名の一部」「連番」「タイトル欄の情報」のいずれかを写真番号として表示することも可能ですので、必要に応じて変更して下さい。



⑧ 最後に、設定データ等を登録する画面が表示されます。必要に応じて登録(保存)して下さい。 なおデータ保存は、後からでも可能です。「OK」ボタンを押すと、設定はすべて完了です。



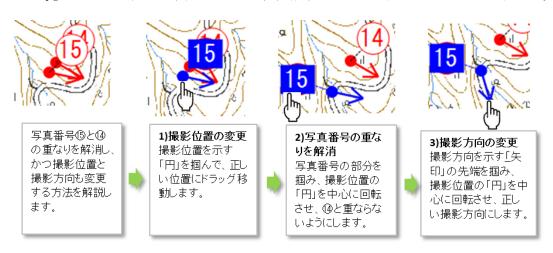
⑨ 設定がすべて完了し、Mapget Pro の主画面に撮影位置図等が表示されます。詳しい操作については、Mapget Pro のマニュアルをご覧ください。



#### ⑩ 撮影マーカーの位置等の変更について

これまでご説明した方法により、簡単に撮影位置図を作成することができます。しかし、現在の GPS データには、残念ながら数メートル~十数メートル程度以上の誤差があるため、正確な撮影位置図にするためには、どうしても撮影マーカーの位置編集が必要となります。

Mapget Pro では、この撮影マーカーの位置編集がとても簡単にできることが特長です。



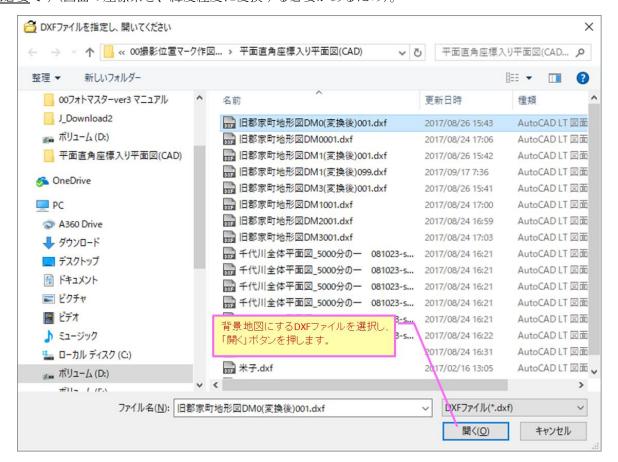
撮影位置マーカーの表示位置等の変更方法

注)web から取得した地図では、地図が A3 程度以下と小さいため、地図上に写真一覧を貼り付けることはできません。CAD 図やラスター地図でのみ可能です。

#### 背景地図が CAD 図 (DXF) の場合

前項③からの続きです

続いて、下記画面が表示されますので、背景地図として使用する DXF ファイルを選択し、「開く」ボタンを押します。なお、読み込む DXF ファイルは、図面内に<u>平面直角座標系の座標値が判明している点が1点</u>以上必要です(図面の座標系を、緯度経度に変換する必要があるため)。



DXF ファイルを読み込むと、下記の「図面情報設定」画面が開きます。DXF 地図の縮尺をリストから選択し、「次へ」ボタンを押します。なお、もしリストに該当する縮尺がない場合は「指定縮尺」を選択し、縮尺の母数を入力欄に直接入力して下さい。



次に「座標系の設定」画面が開きますので、座標系を設定します。DXF 図は web 地図とは異なり、単に読込んだだけでは緯度経度と関連付けができません。そこで DXF 図面内の 1 点(&方位指定)もしくは 2 点の平面直角座標の値を読み取り、緯度経度の座標系に変換します。(予め DXF 図内に 1 点もしくは 2 点の平面直角座標の既知点(座標値がわかっている点)を用意しておいてください。)



それでは、「座標系の設定」画面において、「2点指示」によって座標系を設定する方法をご説明します。まず、「座標系の設定」画面内の「図面参照」ボタンを押します。すると、下記の「平面直角座標系の設定」画面が開きます。

#### ■1 点目の指示



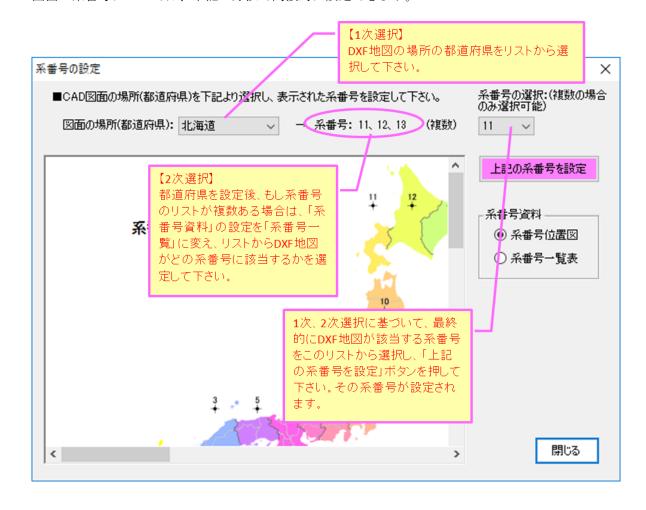
#### ■2点目の指示



座標系を設定すると、下図のように座標値がすべて埋まります。座標系の設定誤差が十分小さいことを確認し、もし大きかった場合は再設定して下さい(「1点指示」の場合は誤差は表示されません)。次に、「測地系」と「系番号」を設定して下さい。「測地系」は、通常「世界測地系」で良いと思います。「系番号」は必ず設定確認して下さい。系番号がわからない場合は、「都道府県から選択」ボタン押し、地図が位置する都道府県を選択することで、間接的に設定可能です。



図面の系番号については、下記の方法で間接的に設定できます。



「座標系の設定」で設定した場所が地図に表示されます。場所が正しいことを確認し、「次へ」ボタンを押して下さい。もし場所が異なる場合は「戻る」ボタンを押し、再設定して下さい。



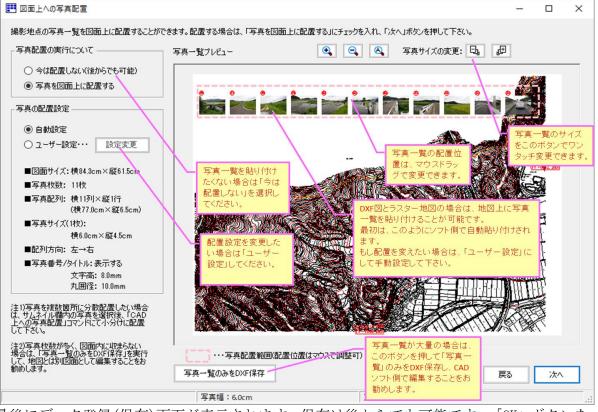
次に、下記画面が表示されますので、撮影位置のマーカースタイルを設定し「次へ」ボタンを押して下さい。写真フォルダは自動設定されますので、設定不要です。



次に下図の写真位置マーカーの情報一覧が表示されますので、必要に応じて表示内容等を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。なお撮影マーカーの写真番号には、フォトマスター側のタイトル欄に連番が設定されている場合は、連番が既定設定されます。但し、「ファイル名」「ファイル名の一部」「連番」「タイトル欄の情報」のいずれかを写真番号として表示することも可能ですので、必要に応じて変更して下さい。



次に「図面上への写真配置」画面が表示されます。配置しない場合は「今は配置しない」にします。 配置の細かな設定変更等は後からでも可能ですので、ひとまず「次へ」ボタンを押し、撮影位置図を完成して ください。

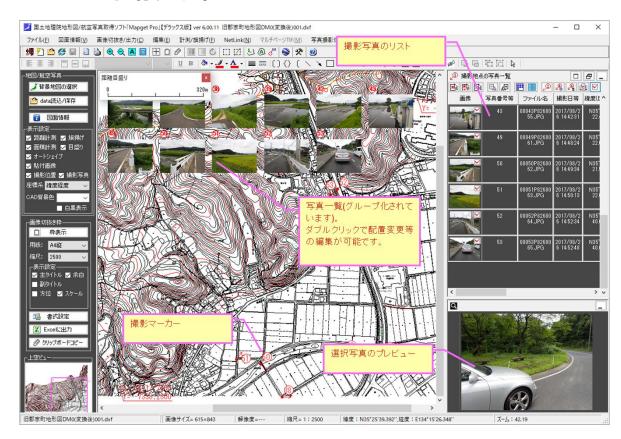


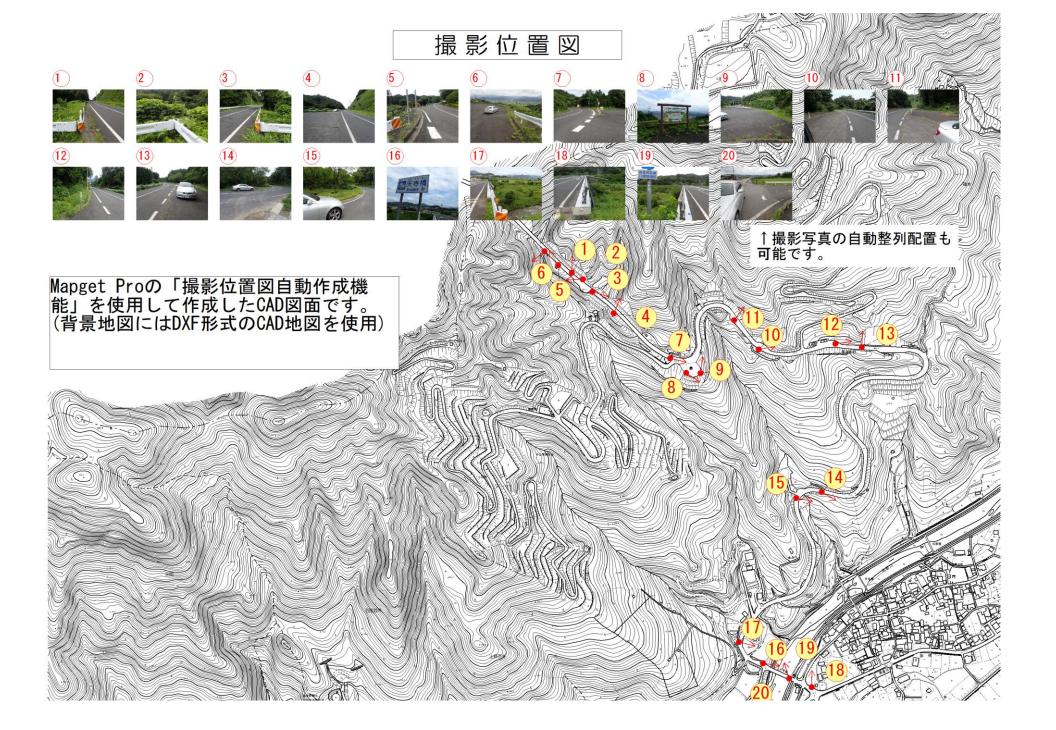
最後にデータ登録(保存)画面が表示されます。保存は後からでも可能です。「OK」ボタンを

押すと全ての設定は完了です。



設定がすべて完了し、Mapget Proの主画面に撮影位置図等が表示されます。詳しい操作については、Mapget Proのマニュアルをご覧ください。





# デジカメ写真アルバム

# フォトマスターⅡ Pro

# Ver2.11 の新機能



## ■フォトマスターIIPro の新機能について

# 5. 新機能一覧(ver2.11)

Ver2. 10→Ver2. 11 では、新たに以下の新機能が追加されました。

- ─ 付箋/インデックス機能
- 🔞 アルバムグループ数の拡張機能(10→15 グループ)
- M アルバムデータの検索機能
- **|||| 寸法補助線に斜角を付ける機能を追加**
- # モザイク処理機能
- 🔡 コメント欄の交互表示の設定について
- 四 写真番号(連番入力)機能の設定と設定解除機能
- アルバム写真の一括リサイズ機能
- タイトル欄の文字に対して「縮小して全体を表示する」機能

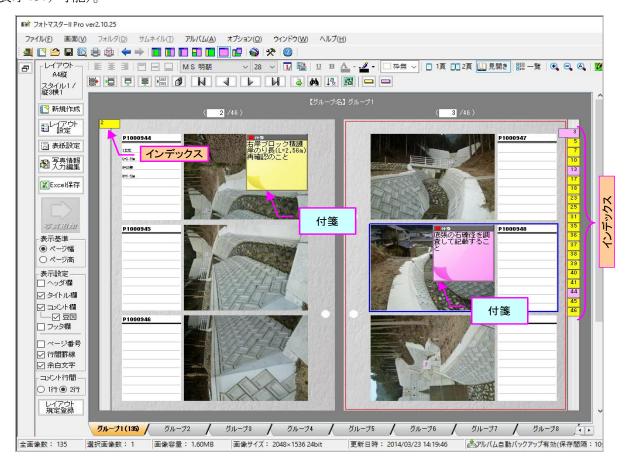
# 5-1. 付箋/インデックス機能

#### 概要

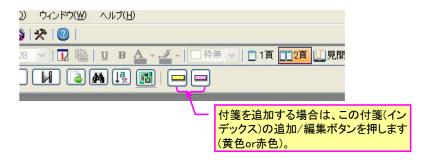
ver2.11 より、アルバム写真に「付箋」を貼り付けることが出来るようになりました。 アルバム情報のチェックなどの際に、編集等が必要な写真に付箋を「覚書」として貼り付けておくことで、その後の編集作業の効率化やミス防止などに役立つものと思います。

またアルバム写真に付箋を貼り付けると、同時にそのページに「インデックス」が付加されます。付加されたインデックスをクリックすると、どのページからでもその付箋のページに瞬時に移動することができるため、使い方を工夫することで様々な活用方法が考えられる大変便利な機能です。

なお本機能は、アルバム欄を大きく表示できる<mark>画面モード6と7のみで使用可能な機能</mark>となっています。他の画面モードでは、付箋の追加/編集が出来ませんのでご注意下さい(付箋表示のみ可能)。



付箋(インデックス)を写真に追加するには、画面モード6と7のツールバー内の「付箋(インデックス)の追加/編集」ボタンを押します。黄色と赤色から選択します。



# 注)フォトマスターのインデックスの特徴について

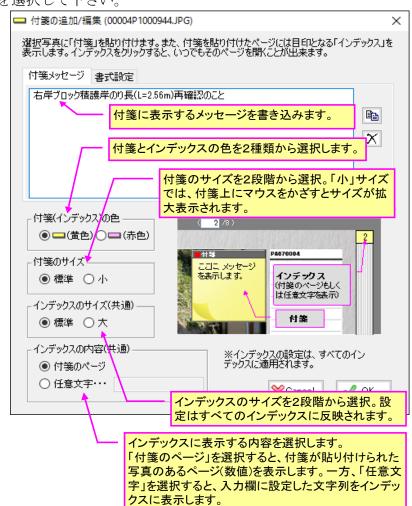
通常のインデックスは、ページに対して1つのインデックスが割り当てられますが、フォトマスターのインデックスは通常とは異なりますのでご注意下さい。フォトマスターのインデックスは、あくまでアルバム写真に貼り付けられた1つの「付箋」に対して1つの「インデックス」が割り当てられます。

## 付箋(インデックス)の追加/編集

前頁のツールバー内の「付箋(インデックス)の追加/編集」ボタンを押すと、下図の付箋(インデックス)の追加/編集画面が表示されます。

画面が開きましたら、付箋に表示するメッセージを記入し、付箋(インデックス)の色、サイズ、インデックスに表示する内容を設定します。最後に「OK」ボタンを押すと、付箋が写真上に表示されます。

なお、写真上に貼り付けた付箋(インデックス)の内容を編集するには、付箋をダブルクリックするか、付箋上でショートトカットメニューを表示し、メニュー内の「付箋(インデックス)の編集」を選択して下さい。

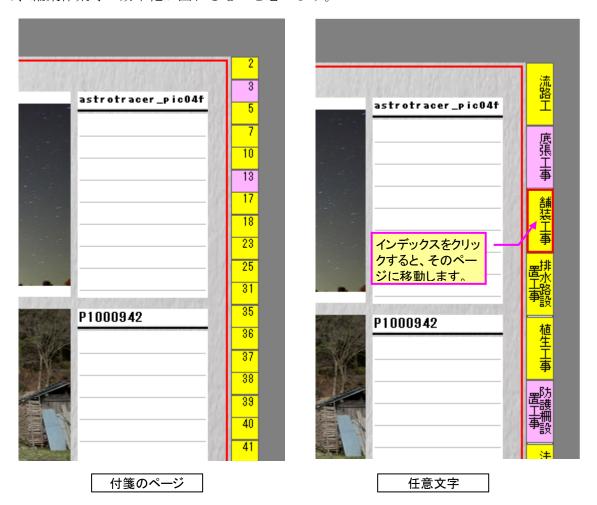


# インデックスの内容について

インデックスに表示する内容は、「付箋のページ」もしくは「任意文字」のいずれかから 選択できます。

もしアルバム写真がいくつかの異なる種別から構成されている場合は、それぞれのトップ の写真に付箋を貼り付け、そのインデックスの任意文字に種別の名称を設定しておくことで、 下図(右側)のようにインデックス付きのアルバムを作成することができます。

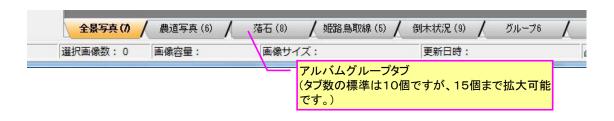
インデックスをクリックすると、それぞれの種別のトップページを開くことが出来ますので、編集作業等の効率化が図れるものと思います。



5-2. アルバムグループ数の拡張機能(10→15 グループ)

#### 概要

この機能により、例えば建築状況の写真であれば、「造成前工事写真」「地盤改良工事写真」「排水工事写真」「外構工事写真」など、工種毎の複数のグループに分けて各アルバムを作成/編集することができ、作業の効率 UP が期待できます。

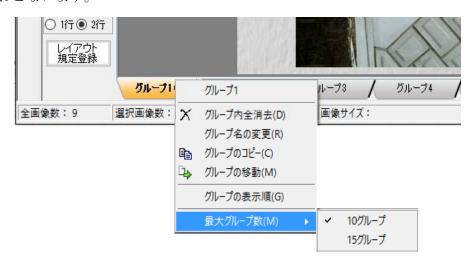


### 最大グループ数の切り替え方法方法

アルバムの最大グループ数は、グループタブ上で右クリックにて表示されるショートカットメニュー内の「最大グループ数」の設定にて変更できます。

但し、最大グループ数を 15→10 に縮小する場合で、かつアルバムグループの表示順を変更 している場合は、表示順を一旦元の順番に戻したうえでグループ数を変更して頂く必要があ ります。

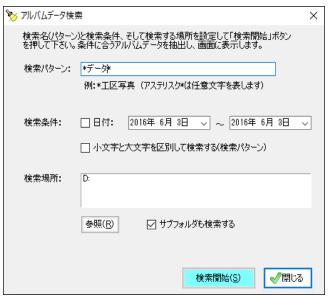
表示順のリセットは、同じショートカットメニュー内の「グループの表示順」のコマンドにておこないます。



### 5-3. アルバムデータの検索機能

アルバムデータを検索する機能を追加しました。アルバムデータ欄上部のツールバーをクリックすると「アルバムデータ検索」画面が表示されます。検索パターン等の検索条件と検索場所を設定して「検索開始」ボタンを押して下さい。

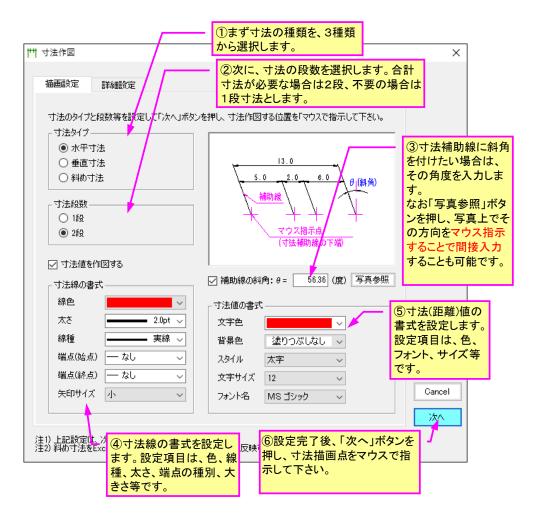


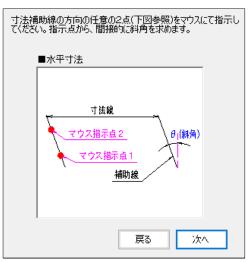


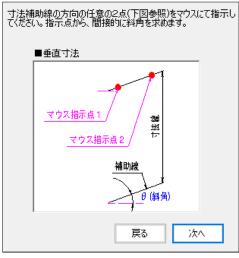
### 5-4. 寸法補助線に「斜角」を付ける機能

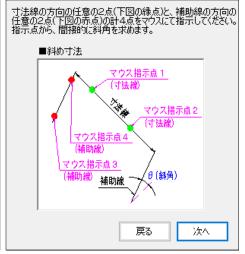
寸法線と寸法補助線は、これまで直交させて描画するタイプのみ作図可能でしたが、ver2.11より斜角を付けて作図することが可能になりました。

具体的には、下図の「寸法作図」画面内の「補助線の斜角」のチェックをオンにし、斜角(度)を設定します。もし斜角がわからない場合は、「写真参照」ボタンを押し、写真上で補助線の方向をマウス指示することで、間接的に斜角を設定することも可能です。

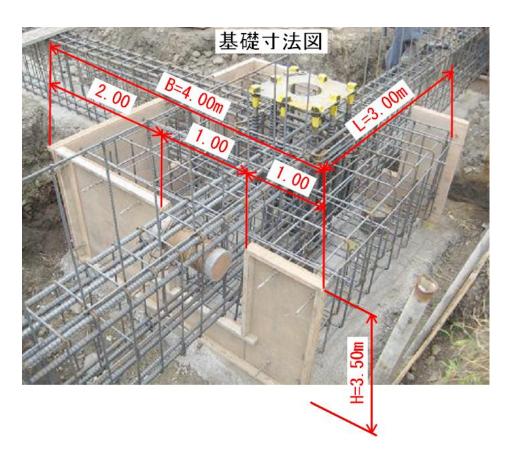








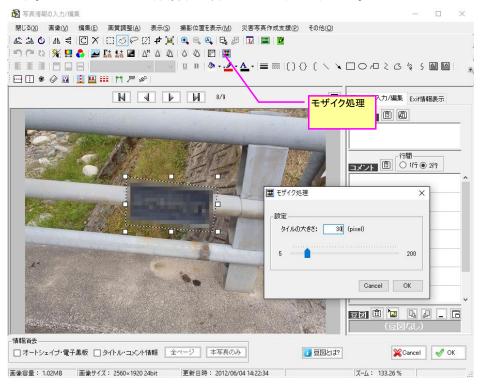
寸法補助線の「斜角」の設定方法(間接指示)



寸法補助線に「斜角」を付けた場合の寸法作図例

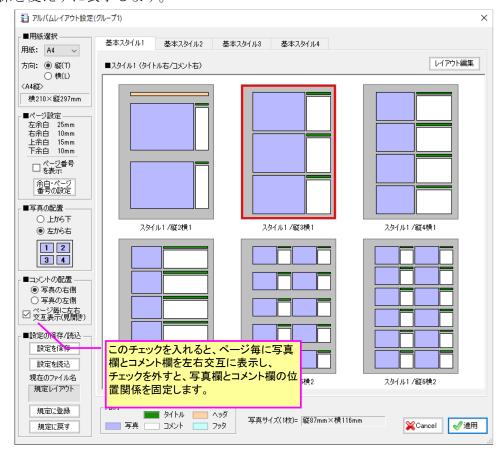
# 5-5. モザイク処理機能

アルバム写真内の範囲(矩形範囲、任意形)を指定して、その範囲内をモザイク加工する機能です。プライバシーを保護する際などにお使い下さい。



### 5-6. 写真とコメント欄を交互表示するかどうかの切替機能

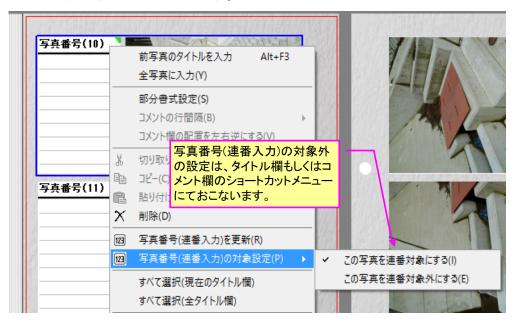
レイアウト設定画面内の「ページ毎に左右交互表示」のチェックを入れると、ページ毎に 写真欄とコメント欄を左右交互に表示し、チェックを外すと、写真欄とコメント欄の位置関 係を変えずに表示します。



### 5-7. 写真番号(連番入力)機能の設定と設定解除機能

写真番号(連番入力)の設定は、基本的に追加するアルバム写真すべてに対して実行されます。しかし場合によっては、一部の写真について写真番号を付けたくない場合や、自動連番とは異なる写真番号を付けたい場合もあるかと思います。

そのような場合は、一部の写真に対して「写真番号(連番入力)の対象外にする」機能を用いて適用を除外することができます。



写真番号(連番入力)が設定されている情報欄には、下図のように欄の右上方に緑マークが表示されます。「写真番号(連番入力)の対象外」に設定すると、このように緑マークを消え、かつ自動入力された写真番号も消えます。



入力欄右上方の緑マークは、「写真番号(連番入力)の対象」となっている欄であることを示しています。

写真番号(連番入力)の対象



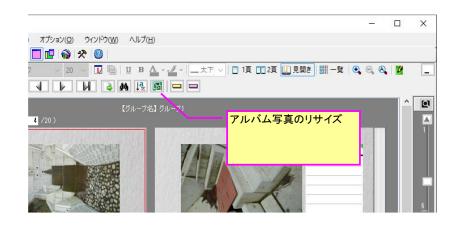
「写真番号(連番入力)の対象外」に設定すると、このように緑マークを消え、かつ自動入力された写真番号も消えます。

写真番号(連番入力)の対象外

### 5-8. アルバム写真の一括リサイズ機能

これまでは、フォルダ欄で選択したフォルダ内の写真を一括リサイズする機能だけでしたが、ver2.11 より、アルバム写真を一括リサイズする機能を追加しました。

この機能により、アルバム完成後でもアルバム写真を一括リサイズすることができます。 アルバムデータのサイズ調整(最小化)等にご利用ください。



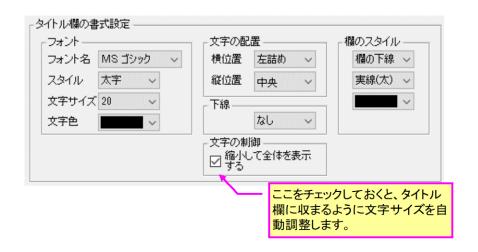


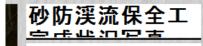
### 5-9. タイトル欄の文字に対して「縮小して全体を表示する」機能

各情報欄の高さ調整は、基本的にレイアウト詳細設定にておこないますが、ver2.11 より、タイトル欄については、下図のように基本的に「縮小して全体を表示する」のチェックが通常 ON となっていますので、欄幅に収まるように文字サイズが自動調整されます。

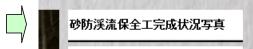
もし自動調整をしたくない場合は、チェックを外し、欄の高さを手動で変更して下さい。

一方、タイトル欄以外の情報欄には「縮小して全体を表示する」機能はありませんので、必要に応じて次ページの方法で欄高を調整してください。





「縮小して全体を表示する」の チェックOFFの場合



「縮小して全体を表示する」の チェックONの場合

# デジカメ写真アルバム

# フォトマスターⅡ Pro

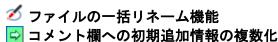
Ver2.10 の新機能



# ■フォトマスターIIPro の新機能について

# 6. 新機能一覧(ver2.10)

Ver2.09→Ver2.10では、新たに以下の新機能が追加されました。



# 6-1. ファイルの一括リネーム機能

#### 概要

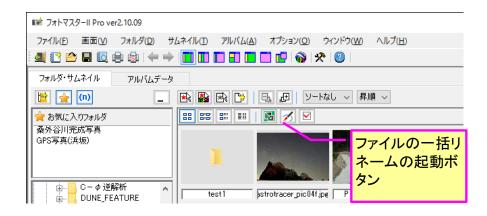
フォトマスターII Pro では、サムネイル欄に表示された多数の画像ファイルを、下記の様々な設定に基づき、簡単に一括リネーム(名称変更)することができます。

リイーム放足項目一見				
種別	リネーム設定	機能		
メイン設定	連番追加	ファイル名の先頭もしくは後方に「連番」を追加		
		します。		
		また連番と共に、任意の文字列も追加することが		
		出来ます。		
	日付追加	ファイル名の先頭もしくは後方に、「日付」を追		
		加します。日付は、「更新日」と「撮影日(原画像		
		作成日)」から選択できます。		
	文字追加	ファイル名の先頭もしくは後方に、任意文字を追		
		加します。		
	拡張子の表記統一	Jpg と JPEG など、同種類の拡張子の表記を統一し		
		ます。統一できる拡張子は、「JPG」「BMP」「TIF」		
		「PNG」「GIG」の 5 種類です。		
その他設定	文字置換	ファイル名の一部の文字を指定した文字に置換し		
		ます。		
	文字削除	ファイル名の一部の文字を削除します。		
	全角/半角変換	ファイル名の全角と半角の文字を変換します。		
	タイムスタンプの変更	画像ファイルの日付(タイムスタンプ)を指定日時		
		に変更します。		

リネーム設定項目一覧

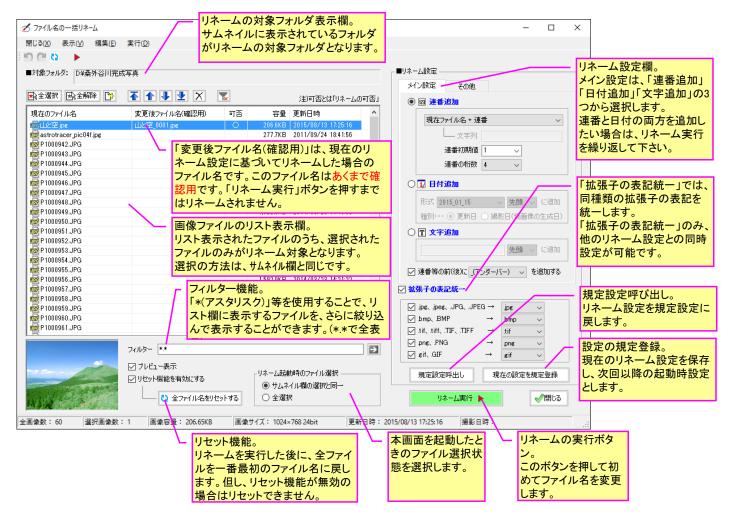
# 一括リネームの起動方法

ファイルの一括リネームは、下記のボタンを押すことで設定画面が開きます。

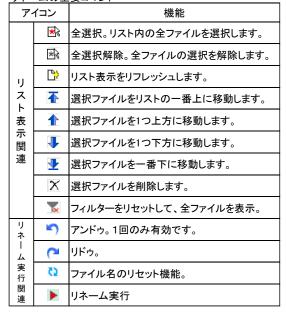


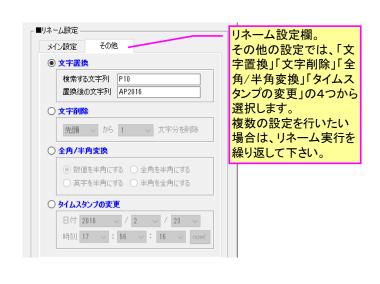
# 一括リネーム設定画面について

リネームの方法は、下記の画面を開いた後、まずリネームしたいファイルを選択します。 その後、右側のリネーム設定欄内の「メイン設定」もしくは「その他設定」から、目的のリネームに合致する設定を選択し細部設定を調整します。リネーム設定が完了しましたら、リスト内の「変更後ファイル名(確認用)」にて、目的のリネームとなっているかを確認します。 そして問題なければ、最後に「リネーム実行」ボタンを押してリネームを実行します。 もし、リネーム実行後に元の名称に戻したい場合は、「アンドゥ」を実行するか、「全ファイル名をリセットする」を実行してください。



リネームの主要コマンド

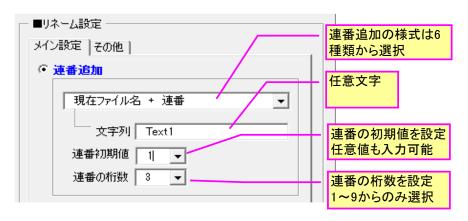




# リネームの設定方法

### 連番追加

選択ファイル名に、連番を追加します。また連番と併せて、任意文字列も追加可能です。



ファイル名:山腹崩壊写真A.JPG

連番:001 文字列:Text1

様式	リネーム結果(例)
現在ファイル名 + 連番	山腹崩壊写真A001.JPG
現在ファイル名 + 文字列 + 連番	山腹崩壊写真AText1001.JPG
連番 + 現在ファイル名	001山腹崩壊写真A.JPG
連番 + 文字列 + 現在ファイル名	001Text1山腹崩壊写真A.JPG
文字列 + 連番	Text1001.JPG
連番 + 文字列	001Text1.JPG

# 日付追加

選択ファイル名に、更新日もしくは撮影日を追加できます。日付の様式は下記の8種類から選択できます。



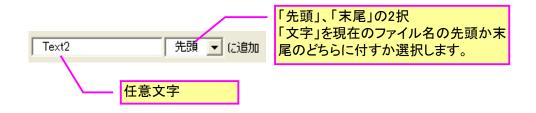
ファイル名:山腹崩壊写真A.JPG

末尾

様式	リネーム結果(末尾に付けた場合)
20150115	山腹崩壊写真A20150115.JPG
2015_01_15	山腹崩壊写真A2015_01_15.JPG
2015-01-15	山腹崩壊写真A2015-01-15.JPG
2015年01月15日	山腹崩壊写真A2015年01月15日.JPG
H270115	山腹崩壊写真AH270115.JPG
H27_01_15	山腹崩壊写真AH27_01_15.JPG
H27-01-15	山腹崩壊写真AH27-01-15.JPG
H27年01月15日	山腹崩壊写真AH27年01月15日.JPG

### 文字追加

選択ファイル名に、任意の文字を追加できます。追加位置は、先頭もしくは末尾から選択できます。



ファイル名:山腹崩壊写真A.JPG

文字列: Text2

末尾

リネーム結果(末尾に付けた場合) 山腹崩壊写真AText2.JPG

# 補助機能

「連番」or「日付」or「文字列」と現在のファイル名との間に、「\_(アンダーバー)」or「 (スペース)」or「-(ハイフン)」を挟むことでファイル名を判りやすくします。



ファイル名:山腹崩壊写真A.JPG

連番:001

現在ファイル名 + 連番

様式(選択肢)	リネーム結果(末尾に付けた場合)
_(アンダーバー)	山腹崩壊写真A_001.JPG
(空白)	山腹崩壊写真A 002.JPG
-(ハイフン)	山腹崩壊写真A-003.JPG

# 拡張子の統一表示

画像ファイルの拡張子が、例えば jpg、JPG など統一されていない場合に、表記を統一するためのものです。



# 文字置換

選択ファイル名の文字置換を行います。



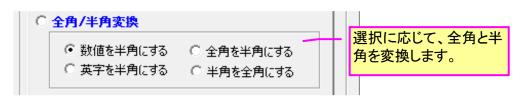
### 文字削除

選択ファイル名の文字の一部を削除します。



### 全角/半角変換

選択ファイル名の全角、半角文字を設定に従って変換します。



## タイムスタンプの変更

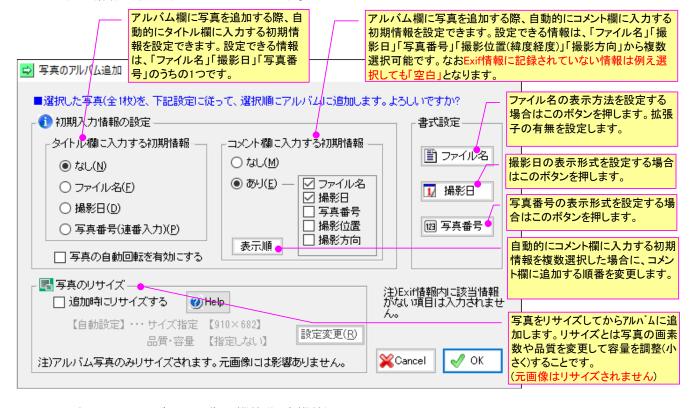
選択ファイルの更新日時を指定設定日時に変更します。



### 6-2. コメント欄への初期追加情報の複数化

アルバム写真を作成する際、これまではコメント欄に追加できる初期情報は1種類だけでしたが、ver2.10からは最大5種類の初期情報を同時入力できるようになりました。

アルバムを新規作成した直後に写真を追加した場合には、下記の「写真のアルバム追加」ウインドウが表示されます。このウインドウは、アルバムのタイトル欄とコメント欄に自動表示する情報を設定するためのものです。



### 6-3. アルバムデータの復元機能(限定機能)

データ読み込み時に画像ファイルが何らかの理由で欠損していた場合、その画像を復元することが出来ます。但し、復元できる画像はアルバム写真のみで、豆図等は復元できませんので予めご了承下さい。アルバムデータ読み込み時に画像欠損が確認された場合は下記の画面が表示されますので、復元の方法を選択し、「続行」ボタンを押して下さい。

データ読込みエラー: 鹿野下水調査	×
	ア類している写真名を表示します。  フォトマスターII Pro ver2.10.09 以降のバージョンで作成されたアルバムデータについては、元画像の場所から自動的に復元することが可能です。但し、元画像が削除されたり、名称的変更されている場合等は自動復元はできません。  フォトマスターII Pro ver2.10.09 未満のバージョンで作成されたアルバムデータでは、自動復元が出来ませんので、元画像の保存場所を手動で指示することで復元することが可能で

# デジカメ写真アルバム

# フォトマスターⅡ Pro

# Ver2.09 の新機能



## ■フォトマスターIIPro の新機能について

# 7. 新機能一覧(ver2.09)

Ver2.08→Ver2.09では、新たに以下の新機能が追加されました。

■ アルバムグループ機能

→ サムネイル画像表示画面での上空ビュー機能

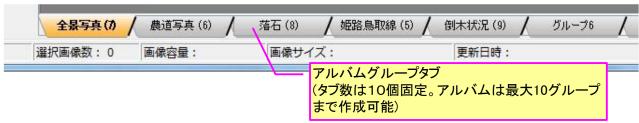
# 7-1. アルバムグループ機能について

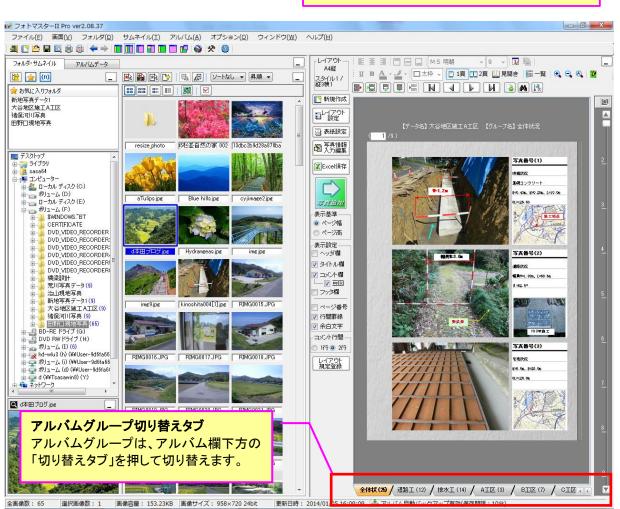
### 概要

フォトマスターⅡ Pro ver2.09 において、複数の異なるアルバムを同時に作成できる「アルバムグループ機能」を追加しました。

同時作成できるアルバムは最大 10 グループ。用紙や各種設定の異なるアルバムを 1 0 個同時に作成可能です。

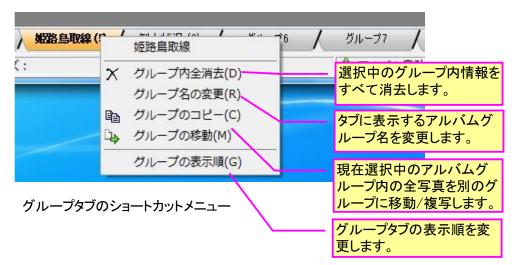
この機能により、例えば建築状況の写真であれば、「造成前工事写真」「地盤改良工事写真」「排水工事写真」「外構工事写真」など、工種毎の複数のグループに分けて各アルバムを作成/編集することができ、作業の効率 UP が期待できます。

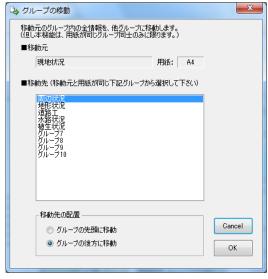


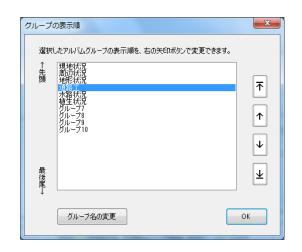


### ショートカットメニュー

アルバムグループタブのショートカットメニューは下記のとおりです。 グループのコピーと移動は、選択グループ内の全情報に対しておこないます。 移動元を指定してのグループ間移動は、「アルバムー覧表示」にておこなってください。







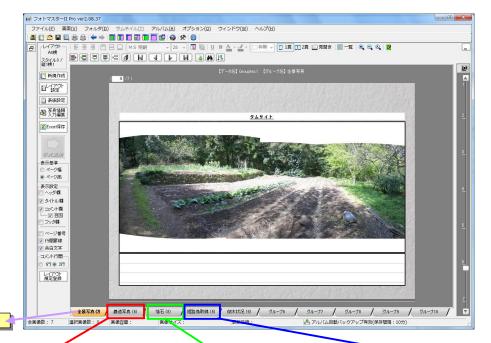
# アルバムグループ構成

通常は、作成したいアルバム種別に応じて、グループ  $1 \rightarrow$  グループ 10 の順でアルバムを作成し、作成後、必要に応じてタブの順番を入れ替えます。なお 1 種類しかアルバムを作成しない場合はグループ 1 のみを使用してアルバムを作成してください。

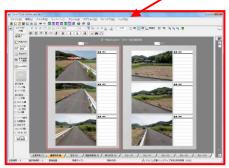
複数のアルバムグループを作成する場合、各グループはレイアウト等のすべての設定が個別に設定できます。つまりグループ 1 は A4 横、グループ 2 は A4 縦、グループ 3 は A3 横というように異なる書式設定が可能です。

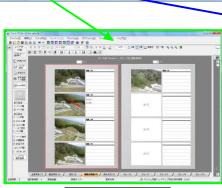
またグループタブの名称は、「グループ 1」・・・「グループ 10」という名称が既定となっていますが、タブをダブルクリックすることで自由に名称変更可能です。

タブ名称は、印刷時にグループタイトルとしても使用されますので、そのことを念頭において設定してください。他のタブとの同一名称は使えません。



アルバムグループ1







アルバムグループ2

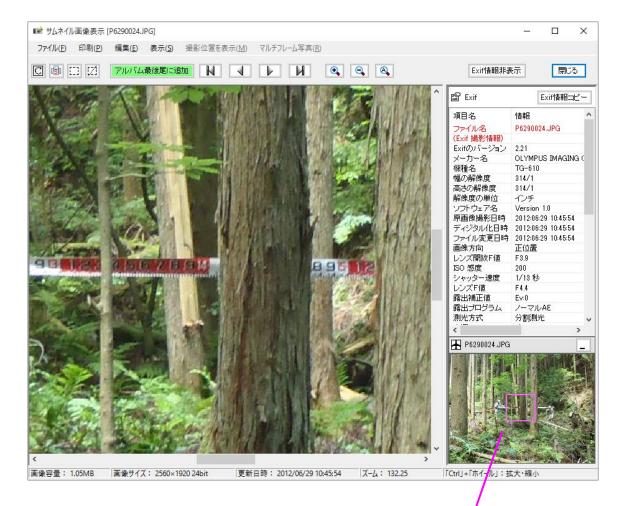
アルバムグループ3

アルバムグループ4

# 7-2. サムネイル画像表示画面での上空ビュー機能

サムネイル画像表示画面で写真を拡大した際に、どこを拡大しているのかを示す「上空ビュー」機能を追加しました。

また画像の拡大/縮小が、「Ctrl」+「スクロール」でも出来るようにしました。



拡大領域を赤枠で表示することで、どこを拡大しているかを示す「上空ビュー」機能を追加。

# デジカメ写真アルバム

# フォトマスターⅡ Pro

Ver2.08 の新機能



# ■フォトマスターIIPro の新機能について

# 8. 新機能一覧(ver2.08)

Ver2.07→Ver2.08では、新たに以下の新機能が追加されました。

- ・ 🗏 電子黒板追加機能(工事用黒板の後付け機能)
- ・ III ショートカットキーに、サムネイル画像の「名前の変更(N)」を追加

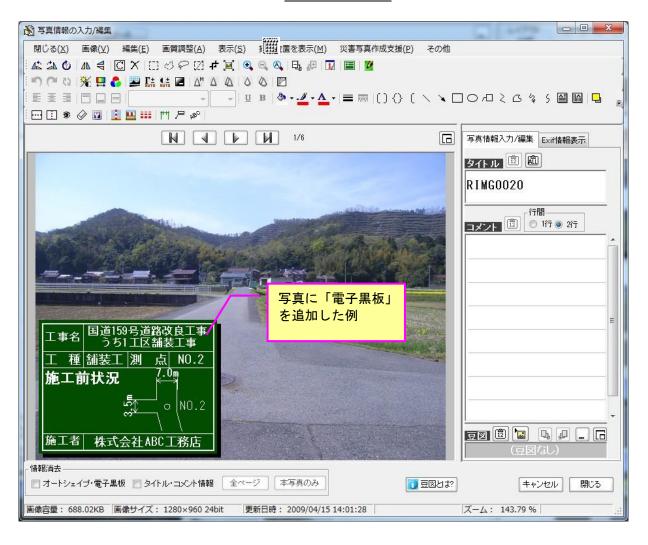
### 8-1. 電子黒板機能(工事用黒板)について

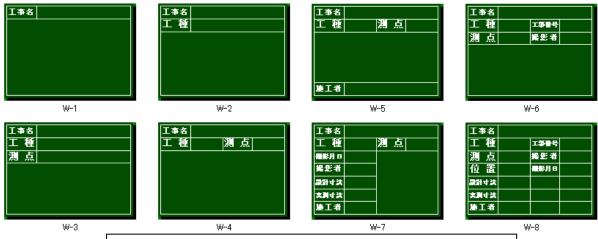
#### 概要

フォトマスターII Proでは、下図のように写真上に「工事用黒板」を「後付け」することが可能です。

建築工事や調査業務などでは、作業内容が書き込まれた黒板とともに、現場の写真を撮影する場面が多いと思います。黒板を「後付け」しても問題ない場合は、本機能を活用することで、簡単かつ効率的に「黒板」を写真上に配置することが出来ます。

また黒板スタイルを一覧表形式に設定することで、調査結果等の一覧表を写真上に貼り付けることも可能です。なおスタイルはユーザー側にてカスタマイズ可能です。



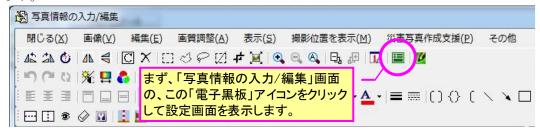


初期設定の黒板スタイル(全8種類、細部はカスタマイズ可能)

## 使用方法

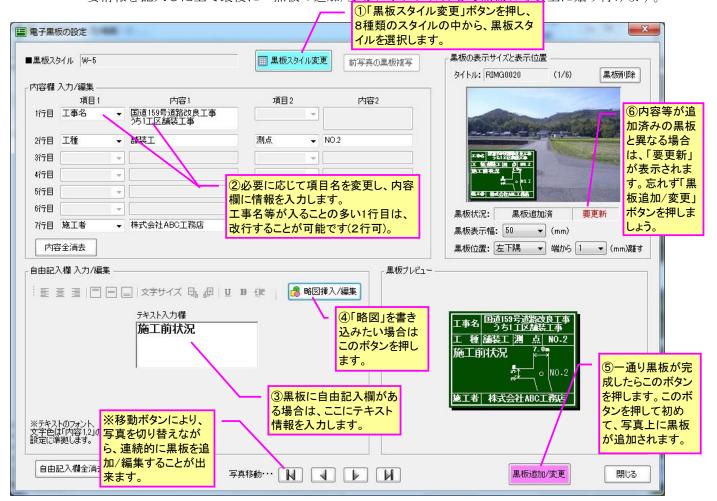
#### ①「電子黒板の設定」画面の表示

「写真情報の入力/編集」画面の「電子黒板」アイコンをクリックして「電子黒板の設定」画面を表示します。



#### ②電子黒板の設定方法

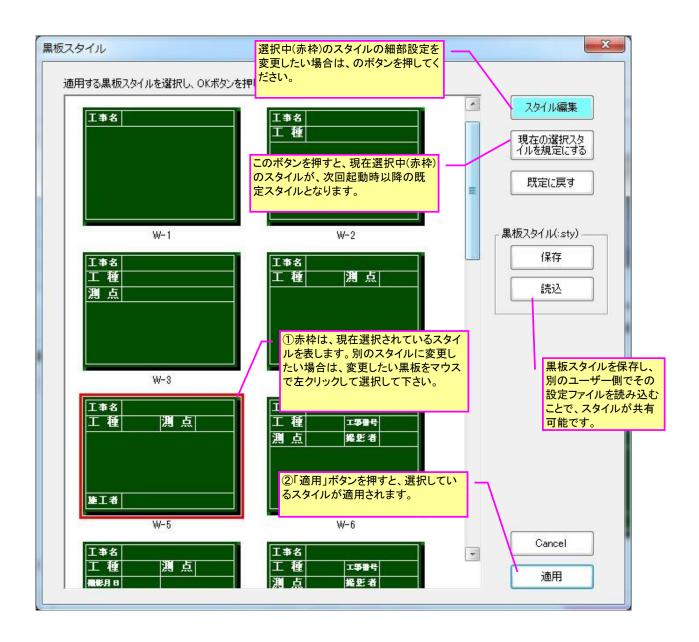
「電子黒板の設定」画面が表示されますので、必要に応じて黒板スタイルを変更し、各設定欄に必要情報を記入した上で最後に「黒板の追加/変更」ボタンを押して黒板を写真上に貼り付けます。



### ③黒板スタイルを変更する方法

フォトマスターIIProでは、8種類の黒板スタイルを登録しています。黒板スタイルを変更したい場合は、下記の黒板スタイル画面を開き、ご希望のスタイル図を選択し「適用」ボタンを押すことで変更することが出来ます。

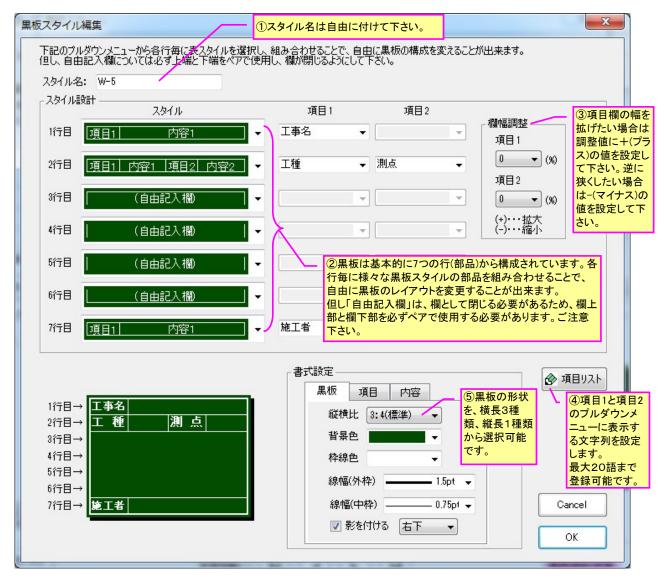
また、もし8種類の中に希望するスタイルがない場合は、ユーザー側で黒板スタイルを編集してオリジナルの黒板を作ることも可能です。黒板スタイルをカスタマイズするには、画面右上の「スタイル編集」ボタンを押してください。



### ④黒板スタイル編集(カスタマイズの方法)

黒板は、7つのスタイル部品で組み合わせて作っています。各スタイル部品は全9種類あり、プルダウンメニューから選択する仕組みになっていますので各行毎に設定して下さい。

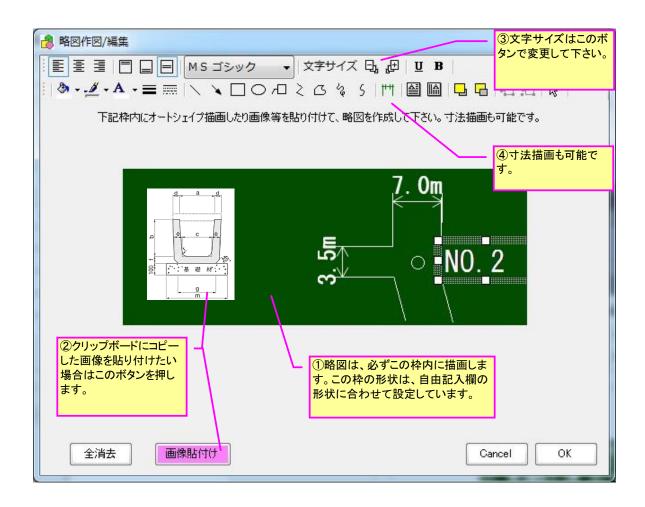




# ⑤略図の追加/編集

自由記入欄には、オートシェイプを用いて略図の作画も可能です。また他のアプリケーションで作図した画像を貼り付ける場合は、クリップボードにコピーして下記の「画像貼り付け」ボタンを押します。

また略図への寸法作図も可能です。



### 電子黒板作成例

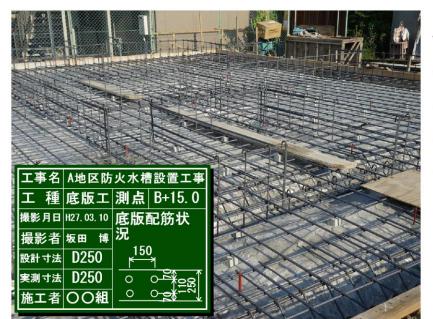
次ページは電子黒板の作成例です。

# 電子黒板(工事用黒板)の後付け追加例



# U型側溝

造成面積 A=12.5ha
U型側溝: U-300-8\*5
L=125.0m-15.3



# 鉄筋工事

貯水槽V=150m3級

GL=125.32m

L=108.12m





# 擁壁工事1

GL=125.9m

L=52.3m

天H=126.8m

# 8-2.ショートカットキーの設定に、サムネイル画像の「名前の変更」を追加

サムネイル画像の「名前の変更(N)」を、ショートカットキー[Shift] + [F2]として登録しました。

# デジカメ写真アルバム

# フォトマスターⅡ Pro

Ver2.07 の新機能



# ■フォトマスター II Pro の新機能について(その1)

# 9. 新機能一覧(ver2.07)

Ver2.06→Ver2.07では、新たに以下の新機能が追加されました。

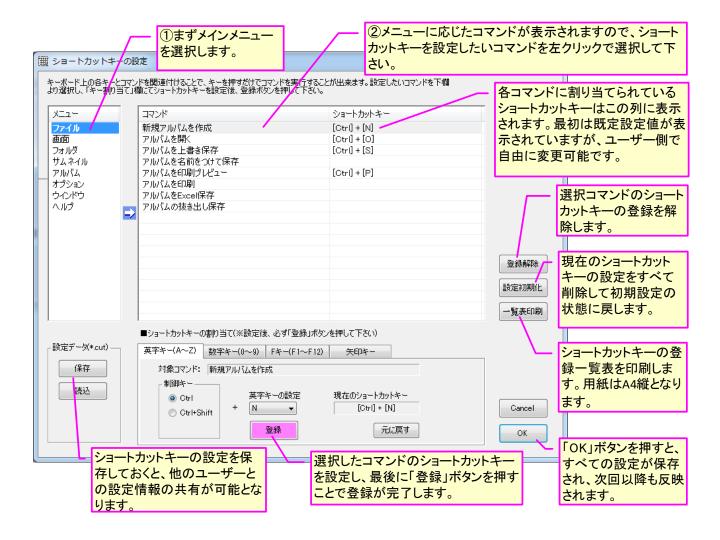
- ・ | ショートカットキーの設定機能
- ・☑ アルバム追加済み写真チェック機能
- ・ プァルバム写真の並び替え機能
- ・ ・ PDF 仮想プリンターへの完全対応(PDFCreator、CubePDF、CutePDF Writer等)

### 9-1.ショートカットキーの設定機能

### ショートカットキーとは

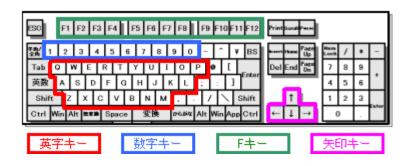
ショートカットキー(ホットキー)とは、画面上のメニューからマウス操作で実行する命令などを、簡単なキー操作で実行する機能です。

ショートカットキーを使用すると、打鍵数を減らしたり、マウスを使わずにコマンドを実行/操作できるため、熟練者が使うと作業効率を高める効果があります。具体的な操作としては、Alt キーやCtrl キーを押しながら他のキーを押すことでコマンドが実行されます。



# ショートカットキーの設定手順

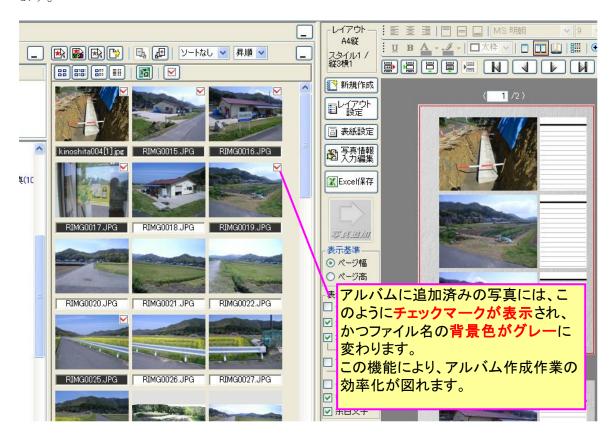
- ①ショートカットキーを割り当てたいコマンドを、設定画面内のコマンドリストから選択 します。
- ②「ショートカットキーの割り当て」欄より、割り当てたいキーを選択します。但し、割り当てられるキーは、下図の「英字キー」「数字キー」「F キー」「矢印キー」のみとなります。
- ③キーを設定後、「登録」ボタンを押します。このとき、キーが既に別のコマンドに割り 当て済みの場合は警告メッセージが表示されれますので、表示に従って処理して下さい。
- ④最後に「ショートカットキーの設定」画面の「OK」ボタンを押します。この操作により キーの設定が最終的に登録され、次回以降も設定が反映されます。



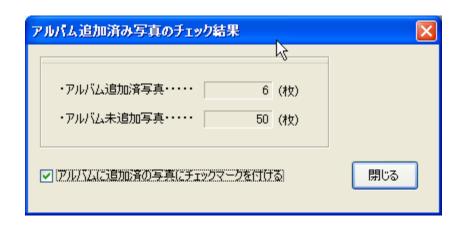
### 9-2. アルバム追加済み写真チェック機能

アルバムに写真を追加すると、追加した写真のサムネイル画像上に「チェックマーク」が 表示されると同時に、ファイル名の背景色がグレーに変わります。

この機能により、アルバムへの二重追加などを防止でき、アルバムの作成作業が効率化します。



またツールバーの「アルバム写真追加済みチェック」ボタンを押すと、下図のようにアルバムに追加した写真と未追加の写真の枚数を表示することができます。

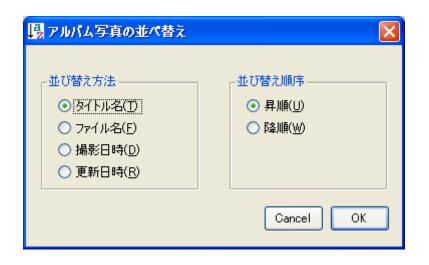


### 9-3. アルバム写真の並び替え機能

アルバム写真の並び替え機能を追加しました。

これまではサムネイル写真の並び替えは出来ましたが、アルバム写真の並び替えまでは出来ませんでした。

しかし多くのユーザー様から、アルバム写真の並び替え機能の追加要望が寄せられたため、 下記のように、タイトル名、ファイル名、撮影日時等で並び替えられる機能を追加いたしま した。



# 9-4. PDF 仮想プリンターに完全対応

Adbe 製品以外の PDF 仮想プリンターでは、ごく稀に印刷されない箇所が存在するなどの不具合が報告されていたため、プログラムを修正いたしました。PDFCreator、CubePDF、CutePDF Writer 等の仮想プリンターに完全対応いたしました。

# ■フォトマスター II Pro の新機能について(その2)

## 1 O. 新機能一覧(ver2.06)

Ver2.05→Ver2.06では、新たに以下の新機能が追加されました。

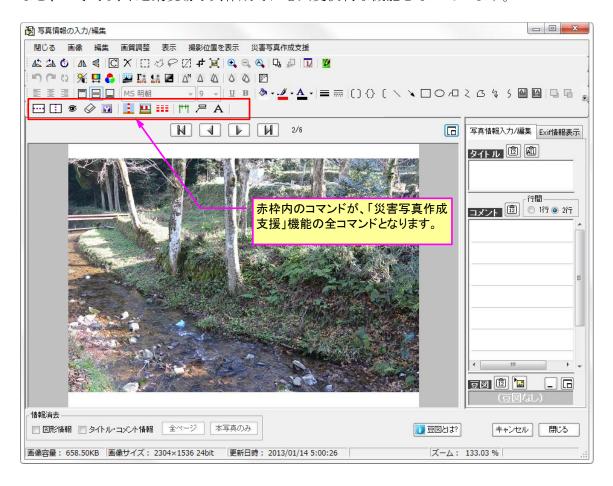
- · 🧗 災害写真作成支援機能
  - (寸法描画、引出し線描画、傾斜文字描画、赤白帯描画、測量ポール描画)
- ・ 🖫 「写真情報の入力/編集」画面でのアルバム写真のサイズ変更機能
- ・ 🔝 アルバムデータの「追加」機能と「プレビュー」機能
- ・ 📠 アルバム写真の抜き出し保存機能

### 10-1. 災害写真作成支援機能

### 概要

「災害写真作成支援機能」は、H26 年より簡素化された災害査定用写真の仕様に対応したもので、CAD のように写真上に寸法を描画したり、距離スケール(赤白帯)を簡単に作図することができます。

なお本機能は災害査定写真の作成を主な目的としておりますが、出来高寸法を表示する際など、工事写真や建築現場写真作成時にも大変便利な機能となっています。



#### 災害査定写真作成支援コマンド

災告住正与具作成文援コマント 	
アイコン	機能
#	寸法描画コマンド。水平、垂直、斜め寸法を描画。
U,	引き出し線描画コマンド。文字列を引き出し線と共に描画。
Α	文字列描画コマンド(傾斜文字対応)。テキストボックスは水平/垂直のみですが、本コマンドはテキストの
$\mathbf{e}$	測量ポール描画コマンド。2m(3m)のポールを簡単に 写真上に描画するコマンド。
1	赤白帯(距離スケール)描画コマンド。距離スケール となる赤白帯を写真上に描画するコマンド。
₩	赤白帯幅変更コマンド。赤白帯の幅を変更するコマンドです。
	水平補助線描画コマンド。寸法線を描画する際の参 考線を描画するコマンド。補助線は印刷/出力されま
	垂直補助線描画コマンド。寸法線を描画する際の参 考線を描画するコマンド。補助線は印刷/出力されま
(6)	補助線の表示/非表示コマンド。
$\Diamond$	補助線消去コマンド。補助線をすべて消去します。
<b>?</b>	補助線設定コマンド。補助線の線種、色、太さ等を 設定します。

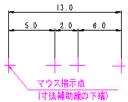
# 寸法描画機能について

「災害写真作成支援機能」には、下記の3種類の寸法描画機能があります。なお通常は距離 寸法を描画しますが、描画設定を変更することで寸法部に任意の「文字列」を表示すること も可能です。

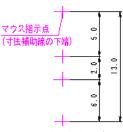
寸法描画コマンド

①水平寸法・・・寸法補助線が水平となるような寸法。水平方向の寸法描画に 用いられます。

⊞ 🗓 🕏 🔗 🖫 | 🗓 😐 === (##)/2 A

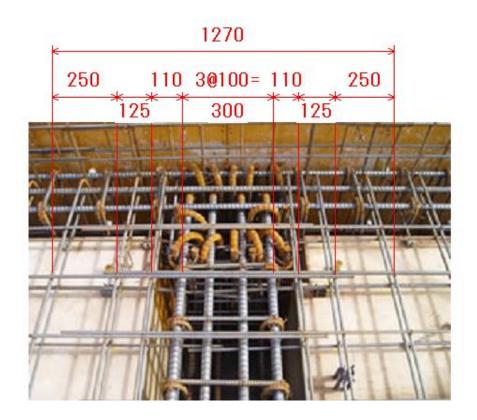


②垂直寸法・・・寸法補助線が垂直となるような寸法。縦方向の寸法描画に 用いられます。 \_\_\_\_\_\_



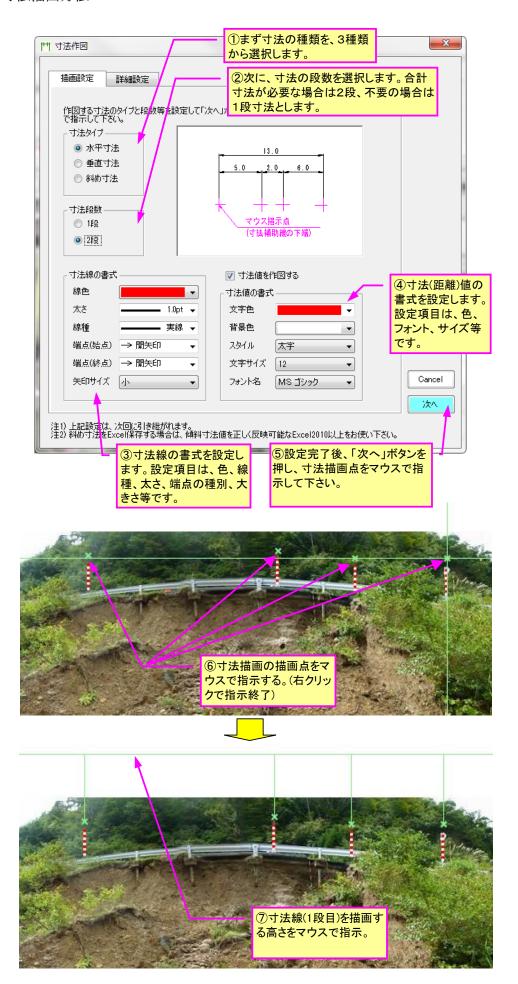
③距離寸法・・・寸法補助線が斜めとなるような寸法。描画角度は、マウス の最初の2点指示の角度で描画されます。

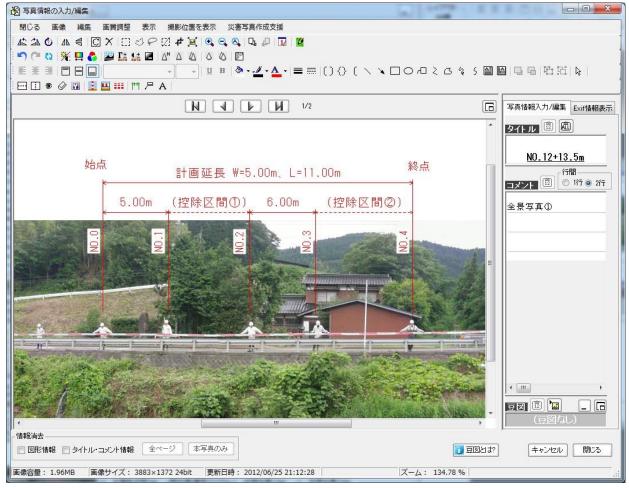




寸法作図例

## ■寸法描画方法





寸法作図例

### 引き出し線描画機能について

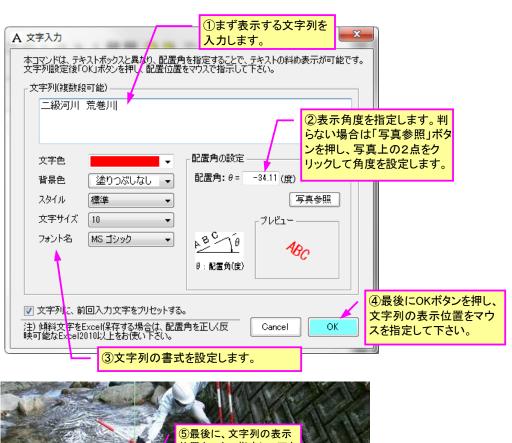
引き出し線を CAD のように写真上に描画します。表示文字列を入力後、文字と引き出し線の書式を設定し、Ok ボタンを押します。続いて引き出し線の先端と途中位置の計3カ所をマウスで指示すると、その位置に引き出し線が描画されます。



## 文字入力(傾斜文字対応)について

写真上に文字列を描画します。文字列表示はオートシェイプのテキストボックス等でも描画可能ですが、本コマンドは**傾斜文字に対応**している点が異なります。

なおアルバムを Excel 保存する場合、傾斜文字が正しく変換されるのは Excel2010 以降のバージョンとなります。古いバージョンでは文字の傾斜が正しく変換されませんのでご注意ください。

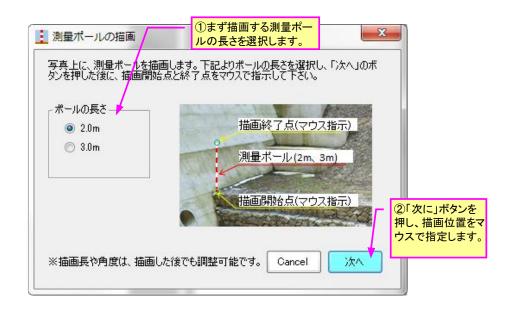


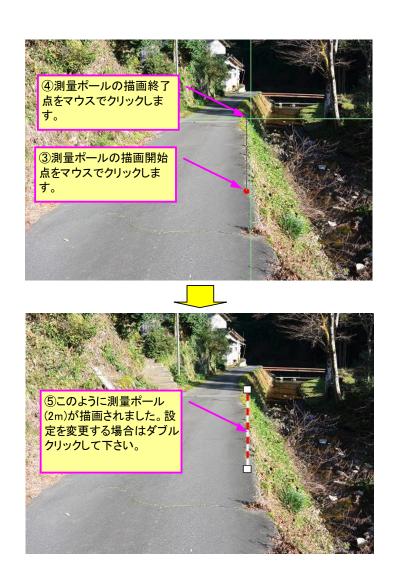




## 測量ポール作図機能について

工事や測量に使用する赤白ポールを写真上に簡単に描画することが出来ます。長さは 2m/3m のいずれかを選択します。





### 赤白帯(距離スケール)の描画機能について

災害査定用写真の全景写真に赤白の距離スケールを描画することが出来ます。

災害写真の距離スケールは元々、災害現場で赤白の幅広巻尺を用いて距離を明示していました。しかし作業の簡素化と危険防止の観点から、今後は実測図が別途ある場合は、現地で赤白の幅広巻尺を用いなくても、撮影後に写真上に距離スケールを描画する方法で全景写真を作成することができます。

下図は「災害査定添付写真の撮り方(平成 26 年改訂版)」〈(社)全日本建設技術協会発行〉に掲載されている全景写真に描画されている赤白帯です。本ツールはこの距離スケールを簡単に描画する機能となります。

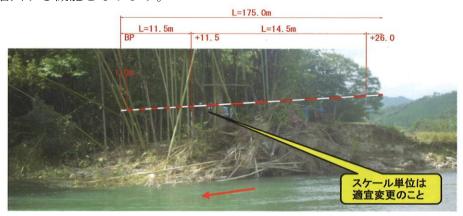
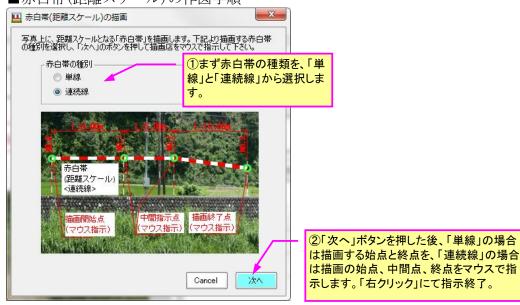


写真-29 河川災 全景写真(延長が大きく組写真とした事例) ①被災延長 L=175.0m (BP ~ +26.0 まで)

■赤白帯(距離スケール)の作図手順

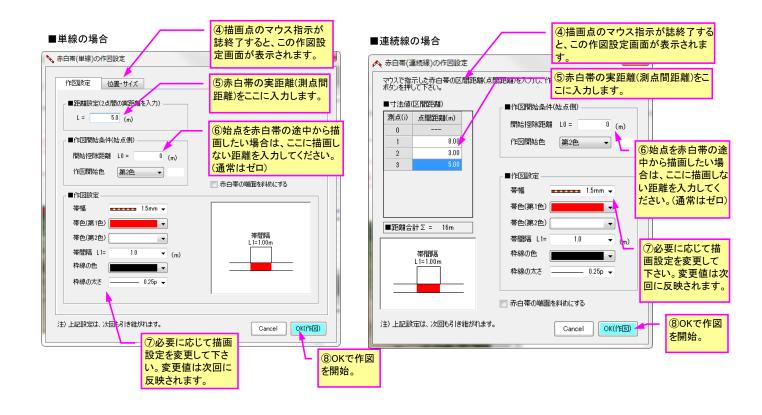


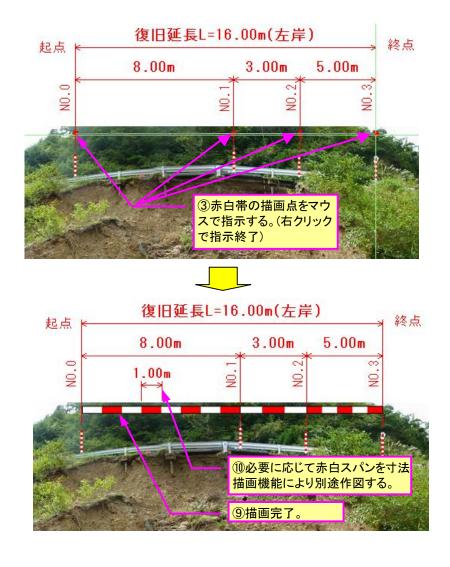
■単線・・・下図のように、1測線のみ(単線)の距離スケールを描画する場合



■連続線・・・下図のように、3つ以上の測点間に距離スケールを連続して描画する場合(連続線)

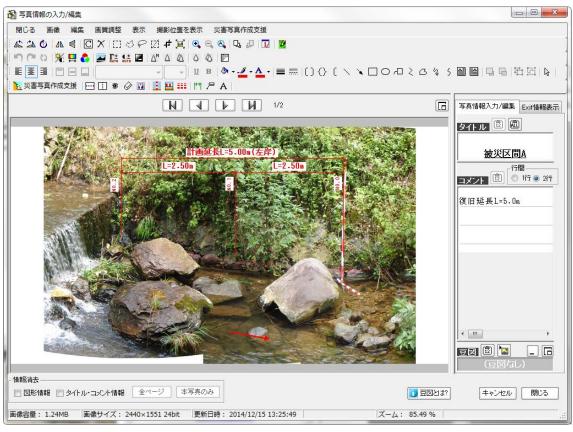




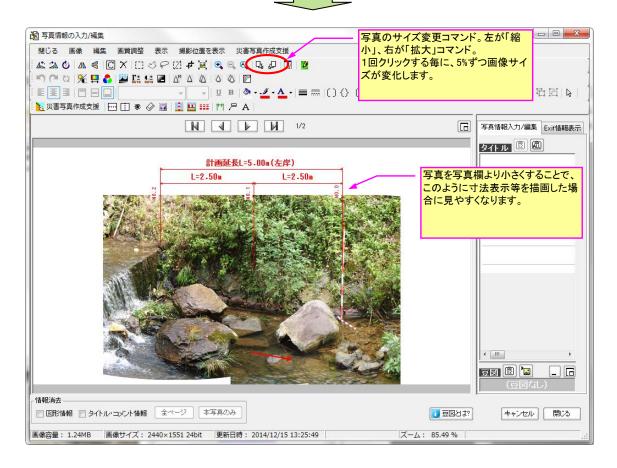


### 10-2. 「写真情報の入力/編集」画面でのアルバム写真のサイズ変更機能

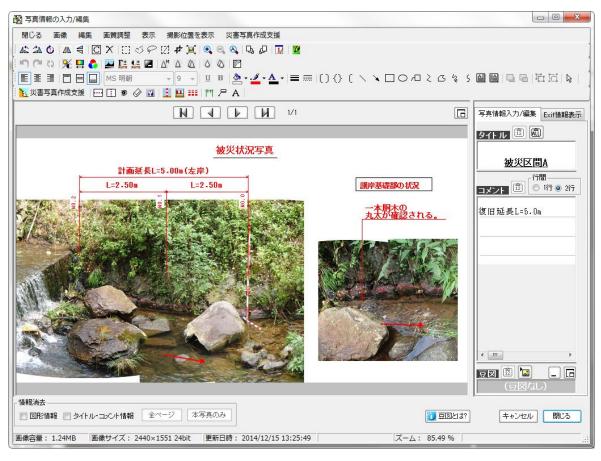
フォトマスターII Pro ver2.06 より、アルバム欄の写真サイズを変更できる機能を追加しました。この機能により、写真欄より写真サイズを小さくすることが可能になるため、写真欄の中に写真を複数配置したり、寸法を写真外に描画することなどが可能になります。

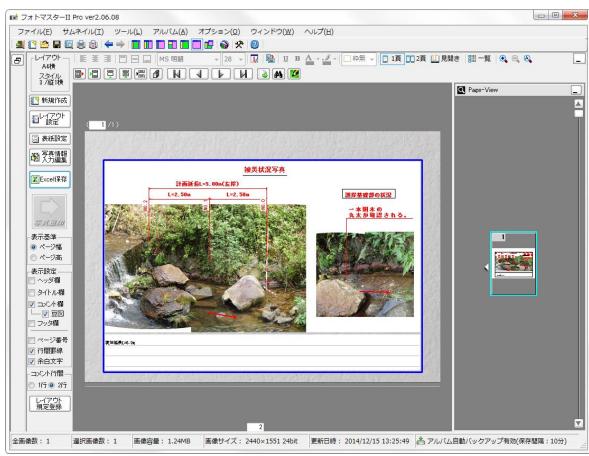


サイズ変更後



また、下図のように写真を縮小することで、空白部に別の画像を貼りつけることも可能となります。なお縮小した画像は、写真枠内での上下左右の表示位置を変更可能です。下図は画像を「左寄せ」かつ「下付き」表示しています。

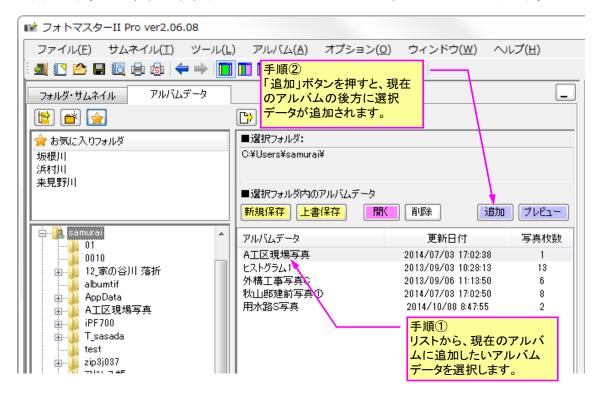




### 10-3. アルバムデータの「追加」機能と「プレビュー」機能

### アルバムデータの「追加」機能

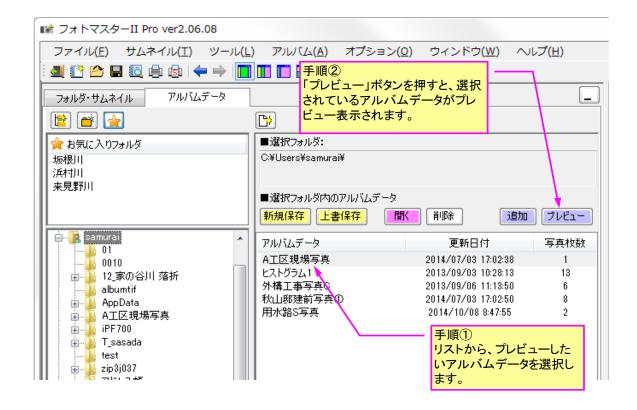
フォトマスターII proでは、下図の方法で、現在のアルバムに別のアルバムを追加することが出来ます。追加位置は、現在のアルバムデータの前方/後方の選択が可能です。



### アルバムデータの「プレビュー」機能

フォトマスターII proでは、下図の方法で、アルバムデータを開くことなく、別のアルバムデータをプレビュー確認することが出来ます。

開きたいアルバムデータを探したり、内容確認など場合に便利です。



#### 10-4. アルバム写真の抜き出し保存機能

メインメニューの「ファイル」-「アルバム写真の抜き出し保存」コマンドにより、アルバム内の写真画像のみを指定フォルダに保存することが出来ます。なお写真上にオートシェイプなどが描画されている場合は、写真とオートシェイプを合成して保存します。

保存時のファイル名は、「連番」&元ファイル名となります。

例えば、元ファイル名が P110251. jpg で連番が 1 番目の場合、「0001P110251. jpg」となります。

